

9-World Champion YOKOMO

MR-4TTC SPECIAL



YOKOMO

MR-4TTC SPECIAL

2001.12.4

この度はヨコモ製R/Cカーキットをお買い求め頂き、誠に有り難うございます。このキットは、ワールドチャンピオン メーカーであるヨコモの高性能・競技用R/Cカーです。本説明書に従った正しい組立・安全な走行をして頂ければ、誰でも手軽に楽しむことができます。

R/C カーを安全に楽しんで頂くための 注意事項

お子様（中学生以下）が 組立・走行する際は、必ず保護者の方が付き添い 安全を確認して下さい。

■ 組立の注意 ■

- 幼児のいる場所では組み立てないで下さい。小さな部品を飲み込む等、非常に危険です。
- 組立の前に必ず内容をお確かめ下さい。万一不良部品、不足部品などがあった場合は、ヨコモ アフターサービス部までお問い合わせ下さい。
- 組立の前に説明書を最後まで読み、全体の流れをつかむと効率的な組立が出来ます。
- 組み立てる際は、様々な工具が必要になります。安全の為に必ず作業内容に合った工具を使用して下さい。又、カッターナイフ等を使用する際は危険を伴いますので、注意して下さい。
- 部品には様々な素材を使用しています。切削加工された金属パーツ等はエッジが鋭く、慎重な組立が必要となります。ケガをしないように注意して下さい。
- プラスティックパーツなどを切断する際は、切断した部品が飛ぶ危険があるので注意して下さい。
- 回転部や駆動部は出来るだけスムーズに動作するように組み立てて下さい。
- 配線やコード類はきれいにまとめて下さい。回転部分や走行路面にコードが接触すると危険です。又、配線は確実に接続されていないとショートなどの恐れや、性能を十分に発揮出来ない場合があります。
- 必要以上の分解、改造をすると、安全性が低下したり走行性能が十分に発揮出来なくなる場合があります。
- 塗装は、周囲に火気の無いことを確認し、換気の良い場所で行って下さい。

■ 走行の注意 ■

- ヨコモ製R/Cカーは競技用の為、時速40kmを越える速いスピードが出るモデルもあります。ルールを守って安全な場所や、R/Cカー用サーキットで走らせて下さい。
- 公道等、周囲の人の迷惑になるような場所では絶対に走らせないで下さい。
- R/Cカーは電波を利用する為、何らかのトラブルで最悪の場合は暴走する事があります。狭い場所や室内は避け、出来るだけ広い、障害物のない場所で行って下さい。
- 周囲にR/Cカーを走らせている人がいる場合は、電波が重ならないように、周波数を確認し合って、安全を確かめて下さい。
- R/Cカーは水を嫌います。雨の日や、水たまりのある場所で走らせると、R/Cメカが壊れたり、暴走する危険があります。
- R/Cカーの駆動部分、ギヤやベルト、タイヤなどは高回転で回ります。回転部分に手を触れないで下さい。
- 走行後のR/Cカーはエンジン、マフラー、シャーシ各部が高温になりますので危険です。冷却期間をおいてから、メンテナンスなどをして下さい。
- 燃料には模型用グロウ燃料をご使用ください。燃料には有害な物質が含まれていますので蒸気、排気ガスは吸引しないでください。事故につながる恐れがありますので使用にあたっては屋外か換気設備が十分な場所で行ってください。
- 燃料の保管は直射日光の当たらない風通しの良い所で、幼児や子供の手の届かない冷暗所に保管してください。

【組み立てに必要な物】

ACCESSORIES AND TOOLS NEEDED FOR [MR-4 TC-SP] ASSEMBLY

■ 走行の為に別にお買い求め頂く物 ■

ADDITIONAL ITEMS REQUIRED FOR USE (NOT INCLUDED IN KIT)

- 2チャンネルプロポ（1サーボ 1アンプ仕様）
TWO CHANNEL R/C SURFACE RADIO SYSTEM
AND ELECTRONIC SPEED CONTROL
- 走行用 7.2V バッテリーパック
7.2V BATTERY PACK
- 走行用バッテリー充電器
BATTERY CHARGER
- 走行用モーター
MOTOR
- 走行用ボディー（ボディー付キットは不要）
BODY
- ボディー塗装用カラー
BODY SPRAY PAINT

■ 袋以外の箱に入っている物 ■

PARTS INCLUDED IN KIT

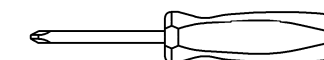
- | | |
|---------------------|---------------|
| ● ボディー（ボディー付キットの場合） | BODY |
| ● バンパー | BUMPER |
| ● ホイール、タイヤ | WHEELS, TIRES |
| ● メインシャーシ | MAIN CHASSIS |
| ● ショックオイル | SHOCK OIL |

[MR-4 TC-SP]の性能を十分に発揮させる為に、組立てはイラストを良く見て説明の順番に従って確実に組み上げて下さい。

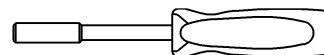
For assembly, follow the figures and the instructions closely so that your [MR-4 TC-SP] will perform at its best!!

■ 別途用意する工具 ■

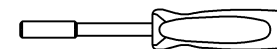
ASSEMBLING TOOLS REQUIRED (NOT INCLUDED IN KIT)



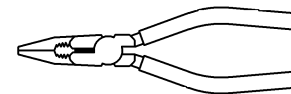
ドライバー（大,小）
SCREW DRIVER (SMALL & LARGE)



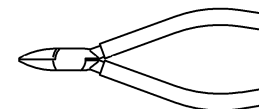
ボックスレンチ（7.0mm）
NUT DRIVER (7.0mm)



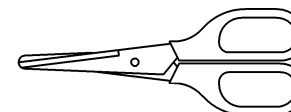
ボックスレンチ（5.5mm）
NUT DRIVER (5.5mm)



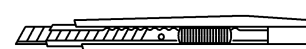
ラジオペンチ
NEEDLE NOSE PLIERS



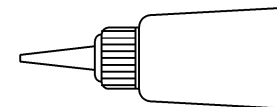
ニッパー
SIDE CUTTER



ハサミ
SCISSORS



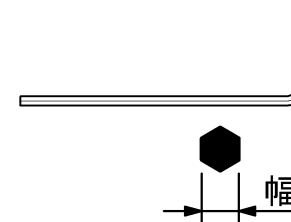
カッター
HOBBY KNIFE



瞬間接着剤
QUICK DRYING GLUE

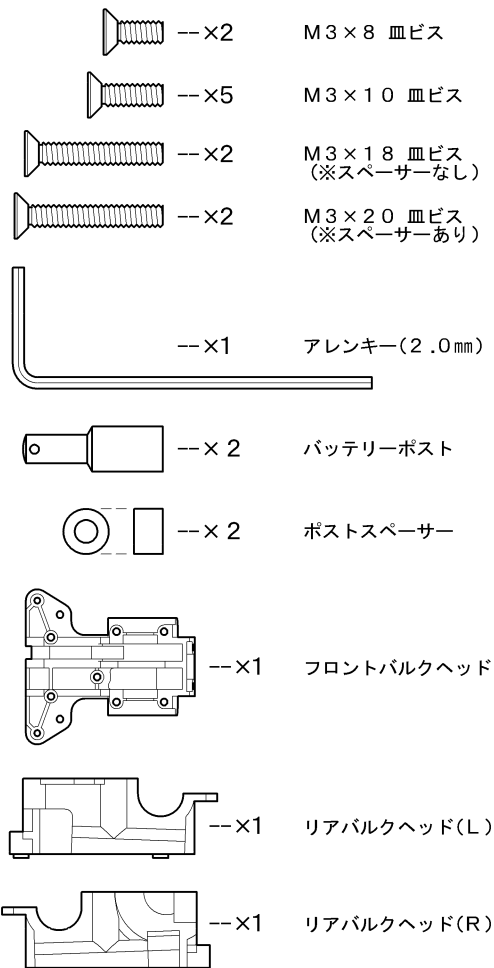
■ キットに入っている工具 ■

TOOLS (INCLUDED)



六角レンチ
ALLEN WRENCH
(2.0mm)
(1.5mm)
(1.27mm)

【袋①の内容】

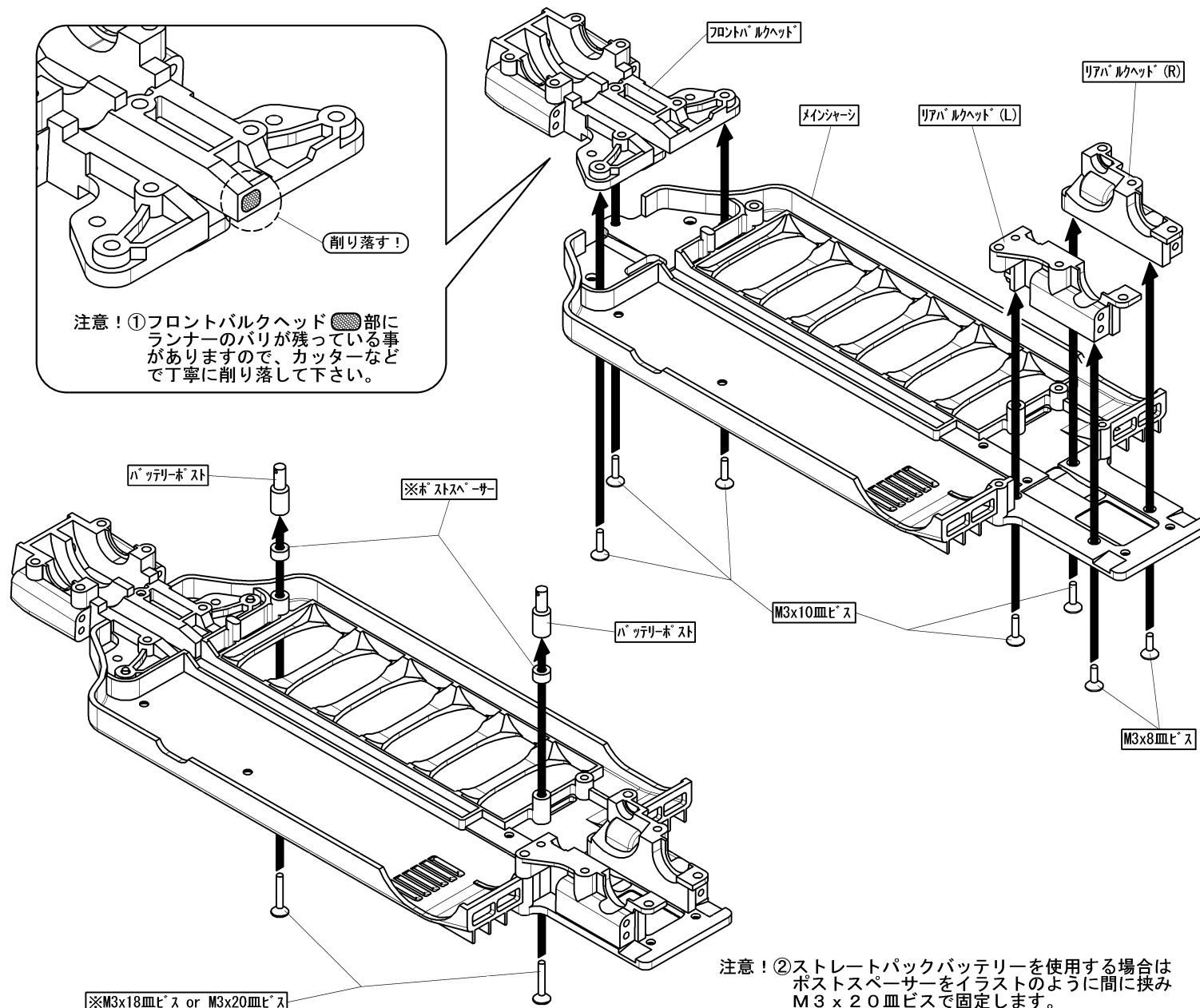


【取付け前にちょっと注目！】

キットに付属する全ての3mm径ネジは、頭の部分が六角タイプ(●)になっています。ネジを回す時は、付属のアレンキー(2.0mm)をご使用下さい。

アレンキーでは作業がしにくい場合は、オプションのワークスレンチ2.0mm(YT-1200 ¥800)をお買い求め下さい。

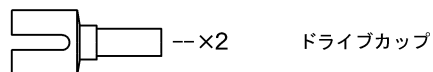
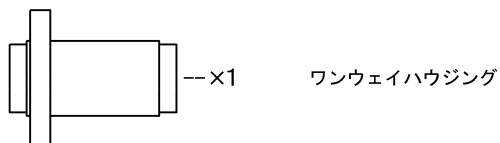
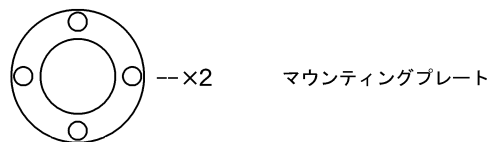
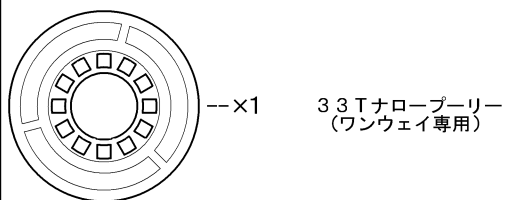
1 前後バルクヘッド、バッテリーポストの取付



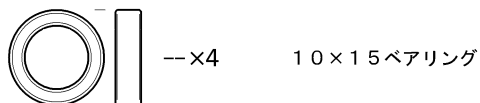
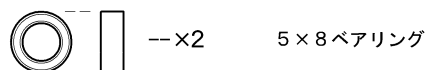
注意！②ストレートパックバッテリーを使用する場合はポストスペーサーをイラストのように間に挟みM3×20皿ビスで固定します。セパレートバッテリーを使用する場合は、ポストスペーサーを使用せず、M3×18皿ビスで固定して下さい。

【 袋② の内容 】

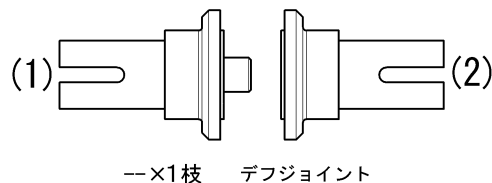
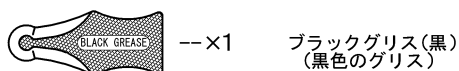
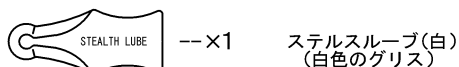
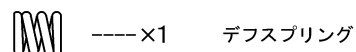
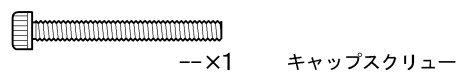
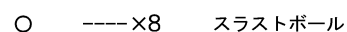
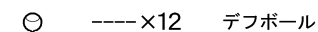
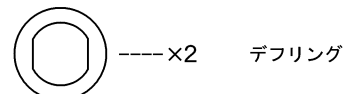
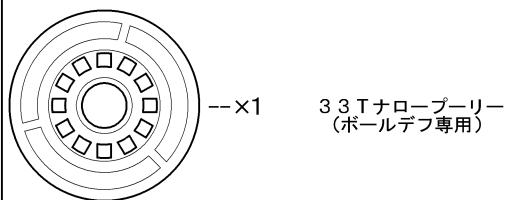
[フロントワンウェイ用パーツ]



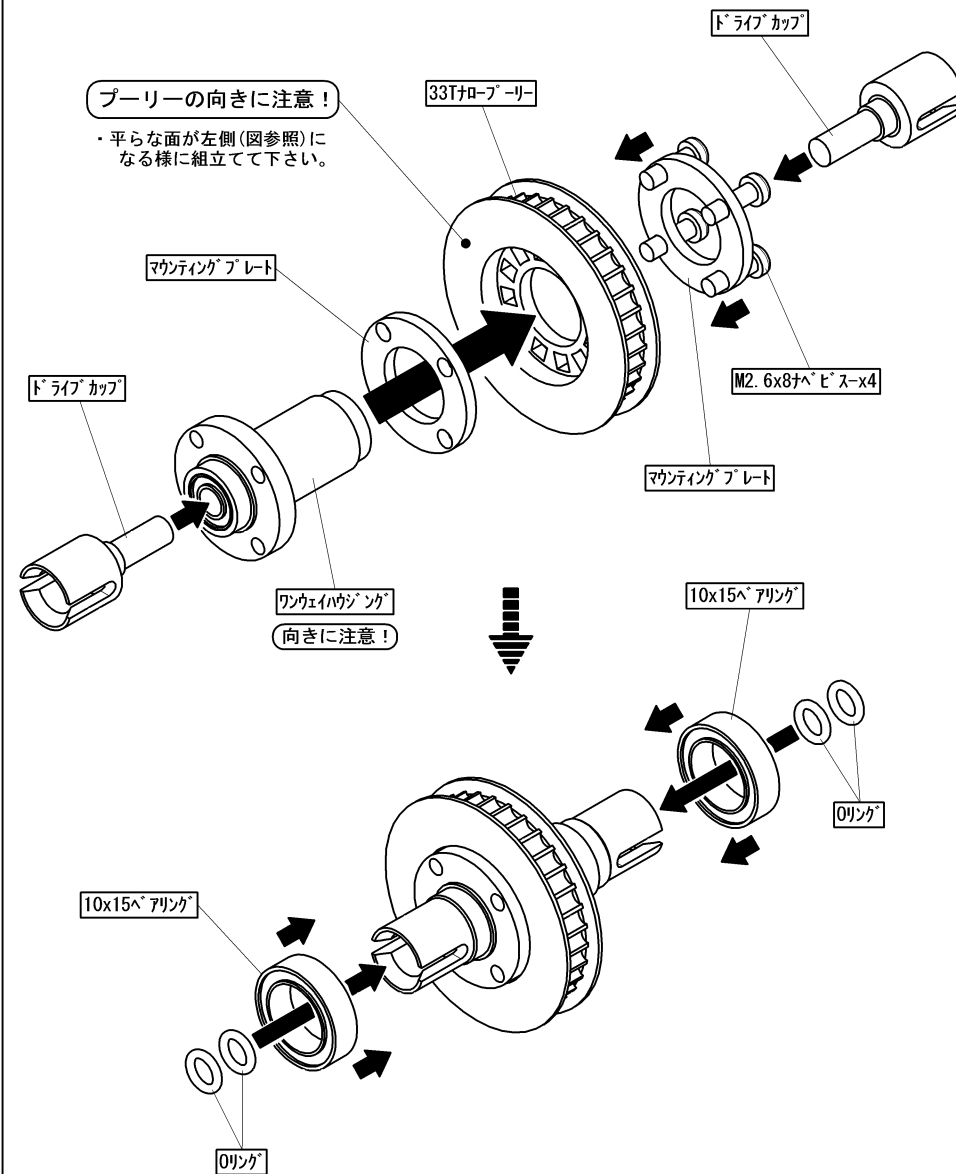
ベアリングは、袋O (小袋)に入っています。



[リアボールデフ用パーツ]



2 フロントワンウェイの組立て

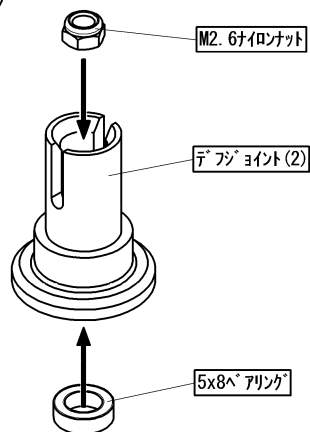


注意! —ドライブカップ内側に入れる“Oリング”はキャンバー角によって個数を調整し、常に軽く回転する様にして下さい。

2 リアボールデフの組立て

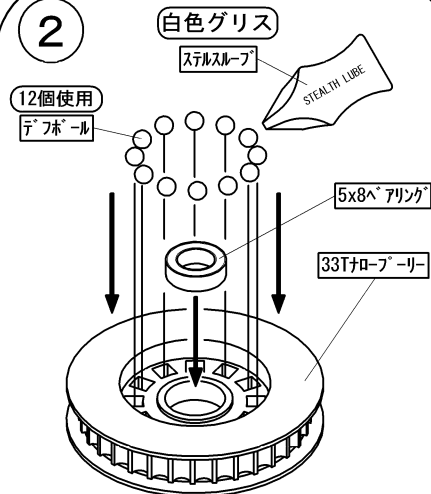
※ボールデフの組立てを始める前に、必ず注意をお読み下さい。

1

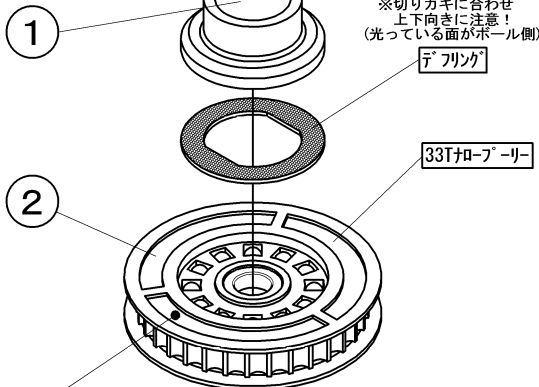


- ・(M2.6鉄ナット)は(デフジョイント)の六角部分にしっかりと押込んで下さい。
(M2.6鉄ナット)の向きはナット側を外側(デフジョイント)に向けて下さい。)
- ・(5x8mmピン)は垂直に押込んで下さい。

2

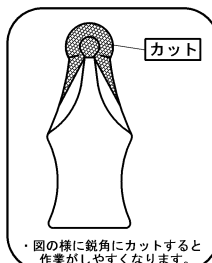


- ・(5x8mmピン)は垂直に押込んで下さい。
- ・(デフボール)には必ず(ステルスループ)を多めに塗って下さい。



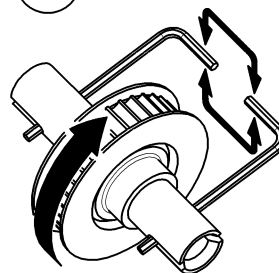
プーリーの向きに注意!

- ・ヘコミ面が上側(図参照)になる様に組立てて下さい。



- ・図の様に鋭角にカットすると作業がしやすくなります。

A



- ・しっかりとレンチをつかみ、プーリーを回す。

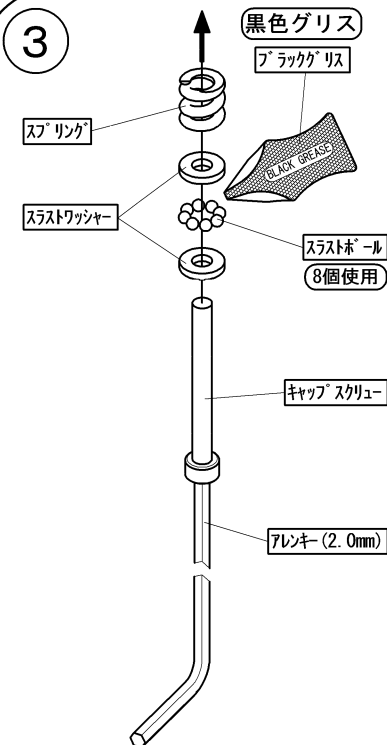
注意! ①(デフリンク)、(デフボール)にはサビ止め用のオイルが付いています。そのまま組立てるとスベリの原因になりますので、クリーナー又はシンナーなどで脱脂を行うと、よりスムーズな差動を得る事ができます。

②(デフリンク)には上下の向きがあります。必ず曇りがある面をデフジョイント側、光っている面をボール側に向けて組立てを行って下さい。

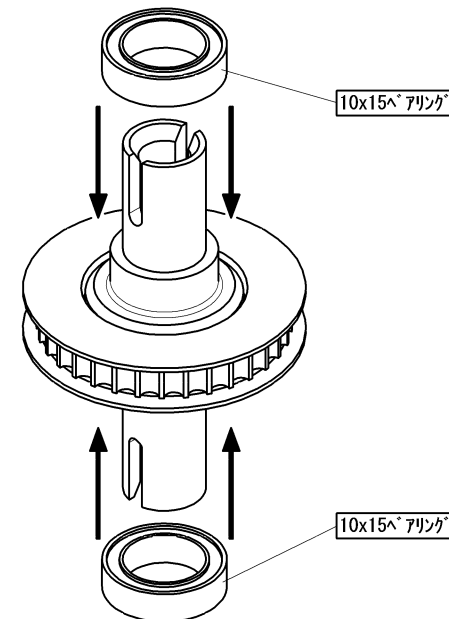
③(デフボール)には(ステルスループ)を、(スラストボール)には(ブラックグリス)を必ず充填して下さい。

④(キャップスクリュー)を締込む目安は、図(A)の様に両方のジョイントにアレンキーを差込み、手でしっかりと固定した状態でプーリーが回らないポイントまで少しずつ締め込む様にして下さい。
(この調整は目安ですので、実走行でスベリが出ないポイントまで、締め込んで下さい。)

3

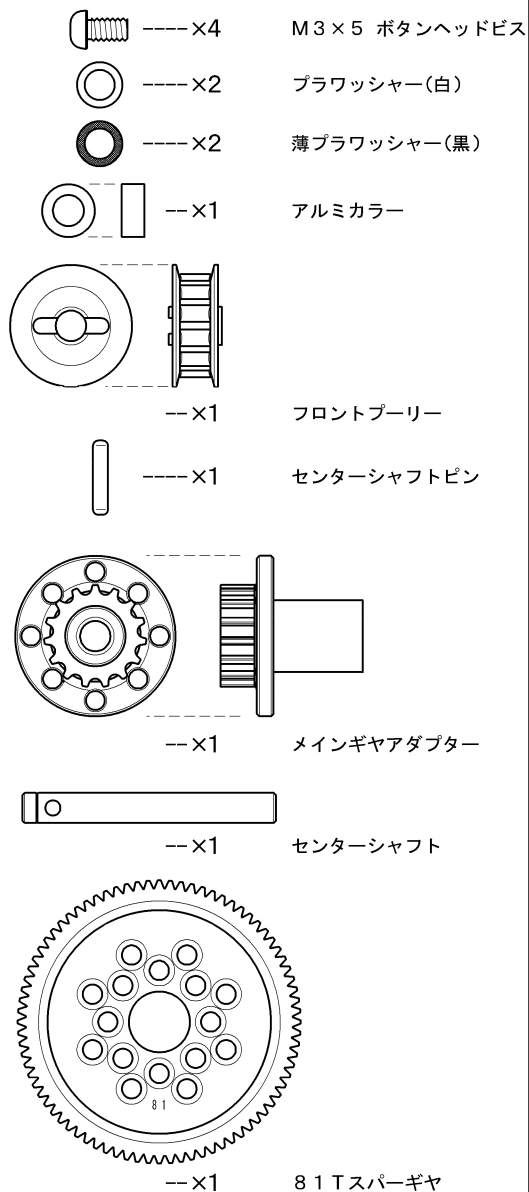


- ・図を良く参照して、組立てる順番にご注意下さい。
- ・(スラストボール)には必ず(ブラックグリス)を塗って下さい。

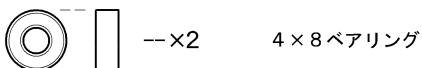


- ・組み上がったボールデフに(10x15mmピン)を2個、左右からしっかりと締め込みます。

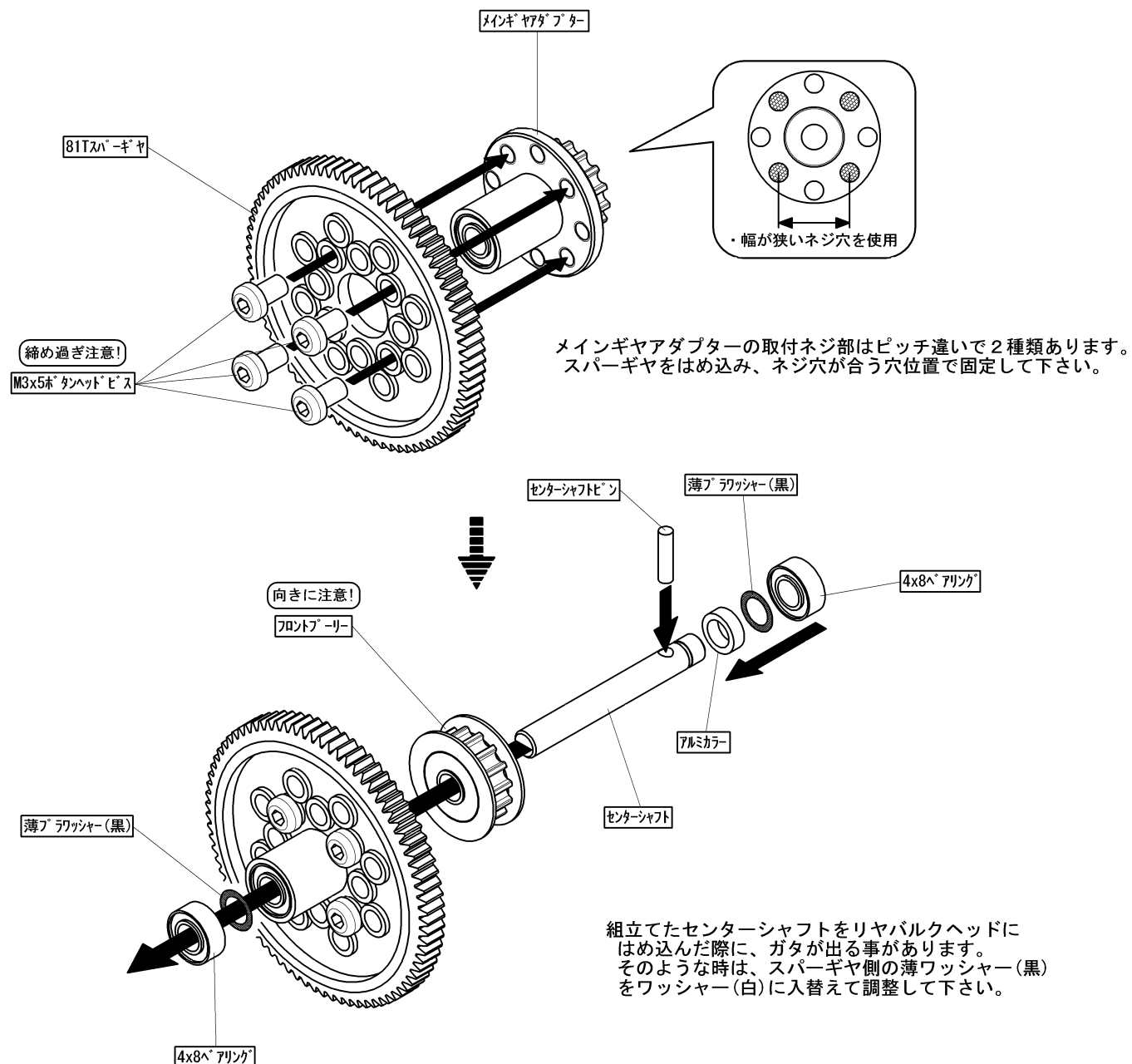
【 袋③ の内容 】



ベアリングは、袋0 (小袋)に入っています。



3 センターシャフトの組立て



【 袋④ の内容 】

-----×1 M3×10 ボタンヘッドビス

-----×2 M3×8 皿ビス

-----×1 テンションカラー

-----×2 4×8 ベ어링

---×1
モーターマウント

---×1
モーターマウントスペーサー

---×1 アッパーデッキ

---×1 フロントドライブベルト

---×1 リアドライブベルト

---×1 スポンジテープ

・その他、袋4-2には両面テープ、
アンテナパイプも入っています。
※(Page-29)で使用します。

4 センターシャフト、前後デフの取付け

・平らな面が左側(図参照)に
なる様にはめ込みます。

プーリーの向きに注意！

左右の向きに注意！

フロントワンウェイASSY

フロントベルト

センターシャフトASSY

左右の向きに注意！

リアデフASSY

リアベルト

調整ネジ側！

プーリーの向きに注意！

・ヘコミ面が左側(図参照)に
なる様にはめ込みます。

注意！ーリアボールデフには左右の向きがあり、バルクヘッド
にはめ込んだ状態で、デフ調整ネジが車を後ろから見
て右側(図参照)になる事を必ず確認して下さい。
同様にフロントワンウェイの向きにも注意して下さい。

ベアリングは、袋O (小袋)に入っています。



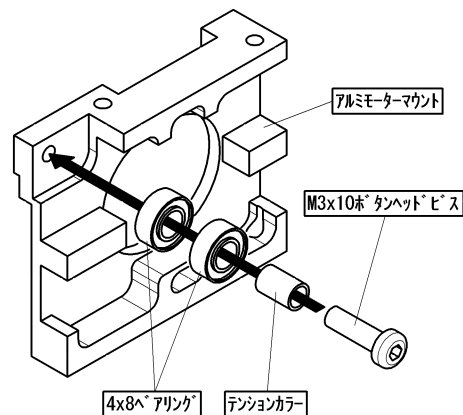
--×2

4×8ベアリング

5 モーターマウントの取付け

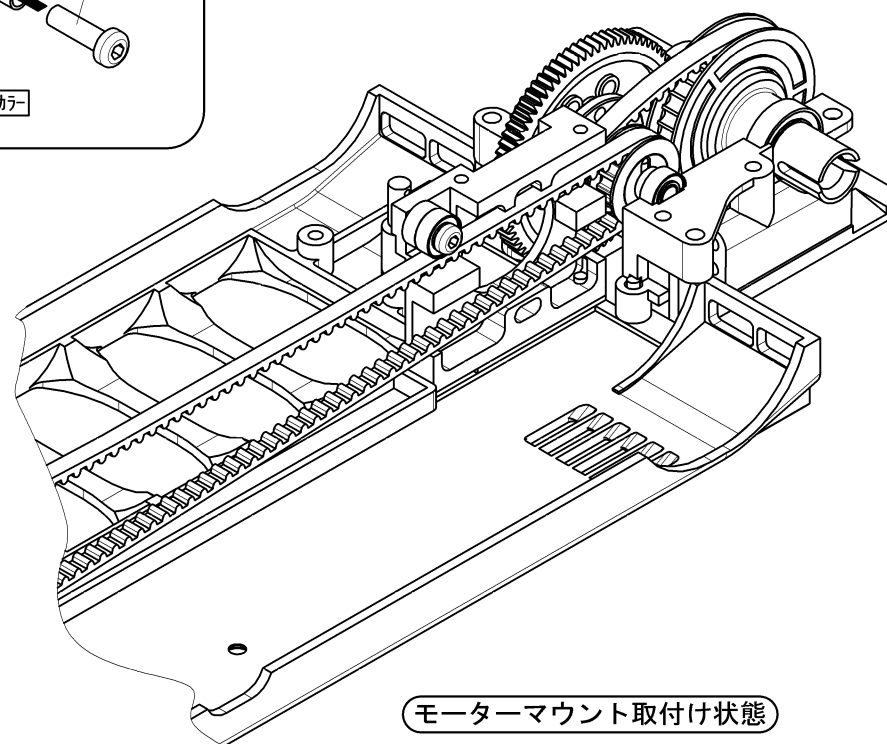
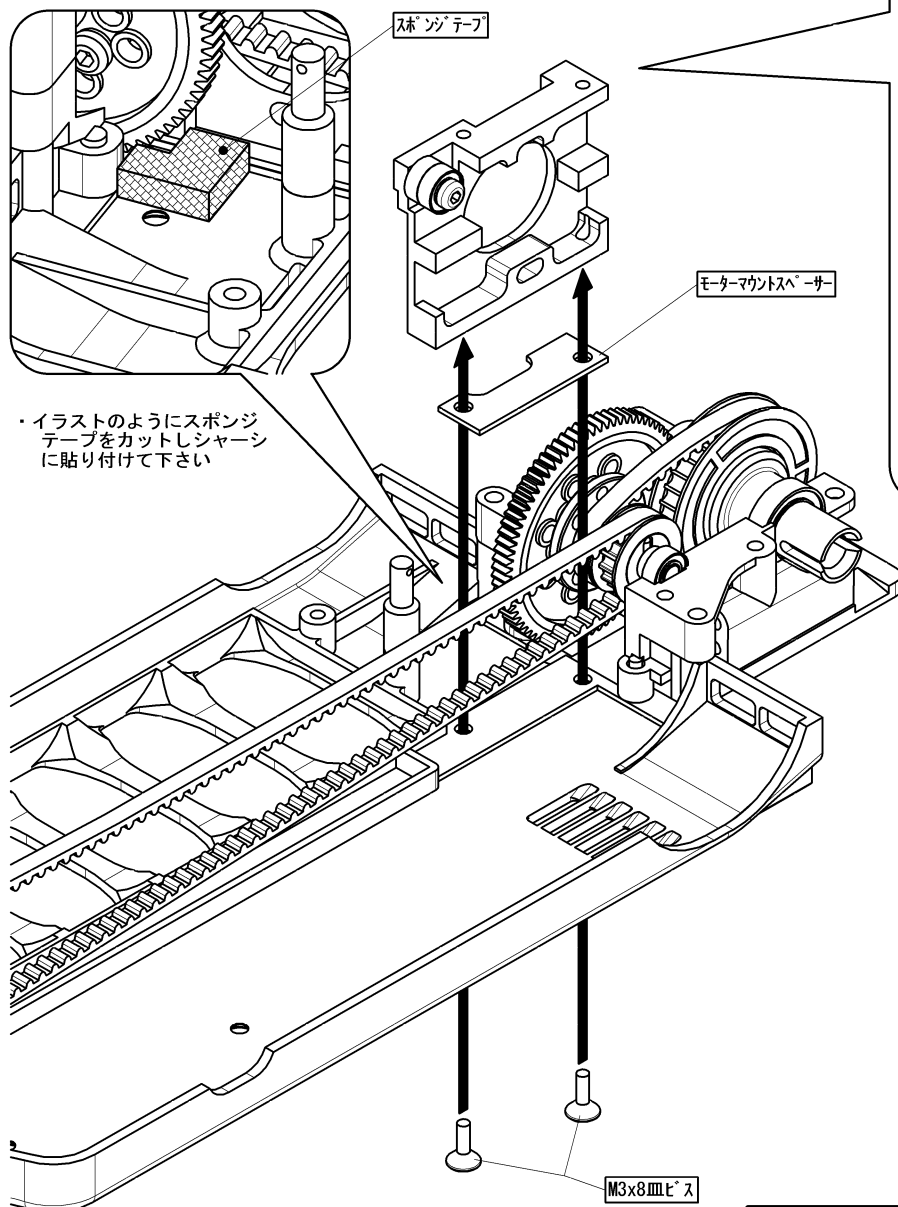
テンショナーの取付け

※シャーシに取付ける前に組立てて下さい。

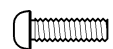


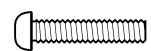
注意！①モーターマウントスペーサーは、モーターマウント下側にはさみ込んで下さい。

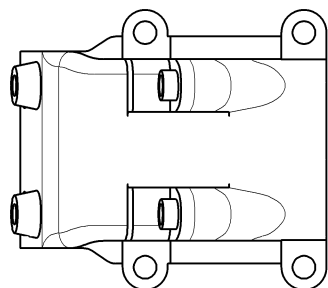
②モーターマウントを取付ける時は、下イラストのようにフロントベルトが間を通るように取付けて下さい。



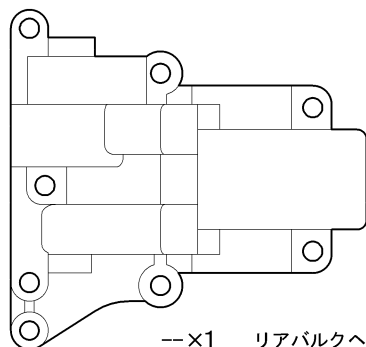
【 袋⑤ の内容 】

 ----×2 M3×10 ボタンヘッドビス

 ----×2 M3×15 ボタンヘッドビス



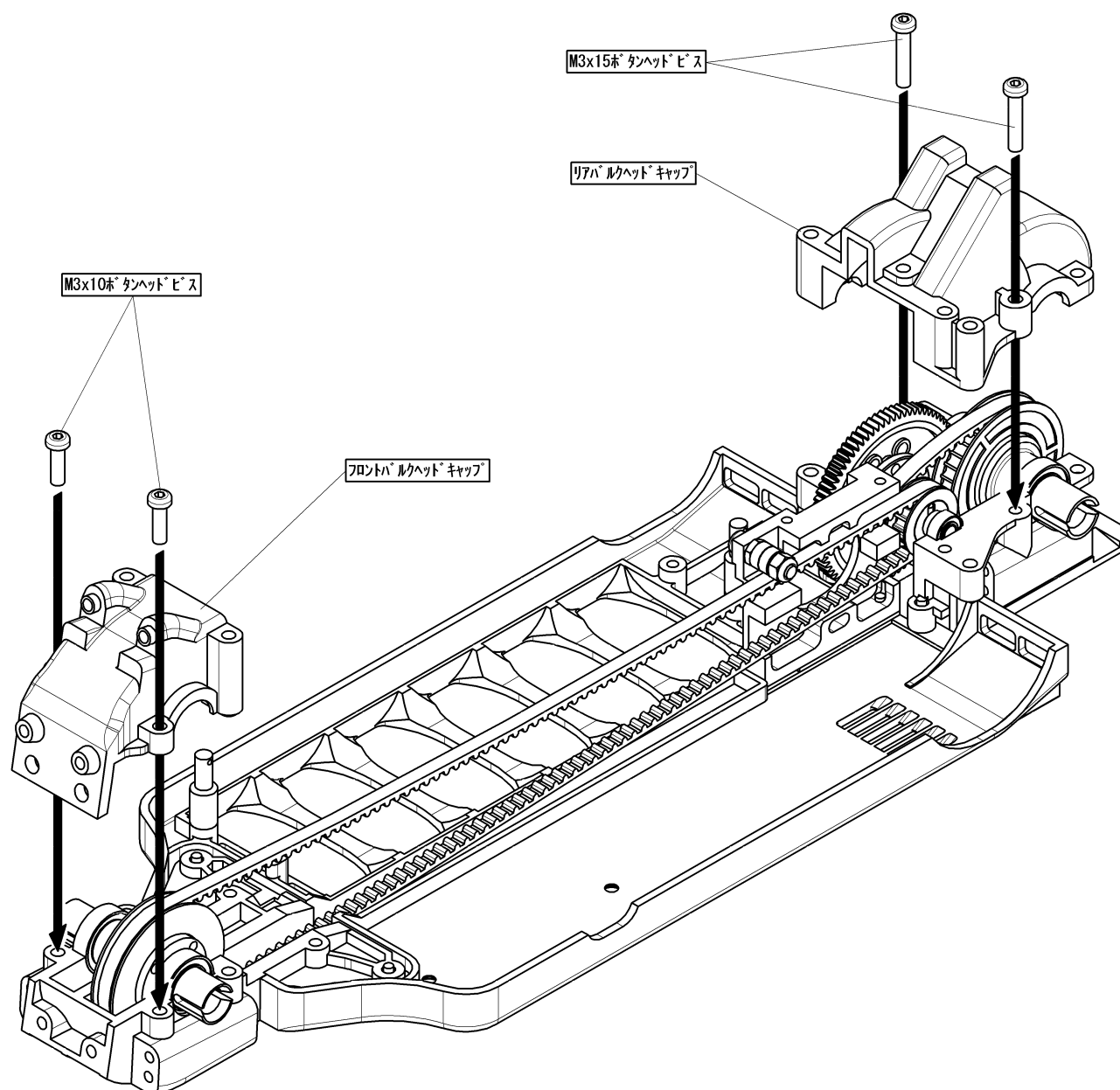
—×1 フロントバルクヘッドキャップ



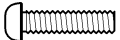
—×1 リアバルクヘッドキャップ

前後バルクヘッドキャップをイラストのように被せ
指定のネジで固定して下さい。

⑥ 前後バルクヘッドキャップの取付け



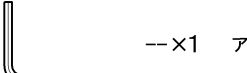
【 袋⑥ の内容 】

 ---×2 M3×12 ボタンヘッドビス

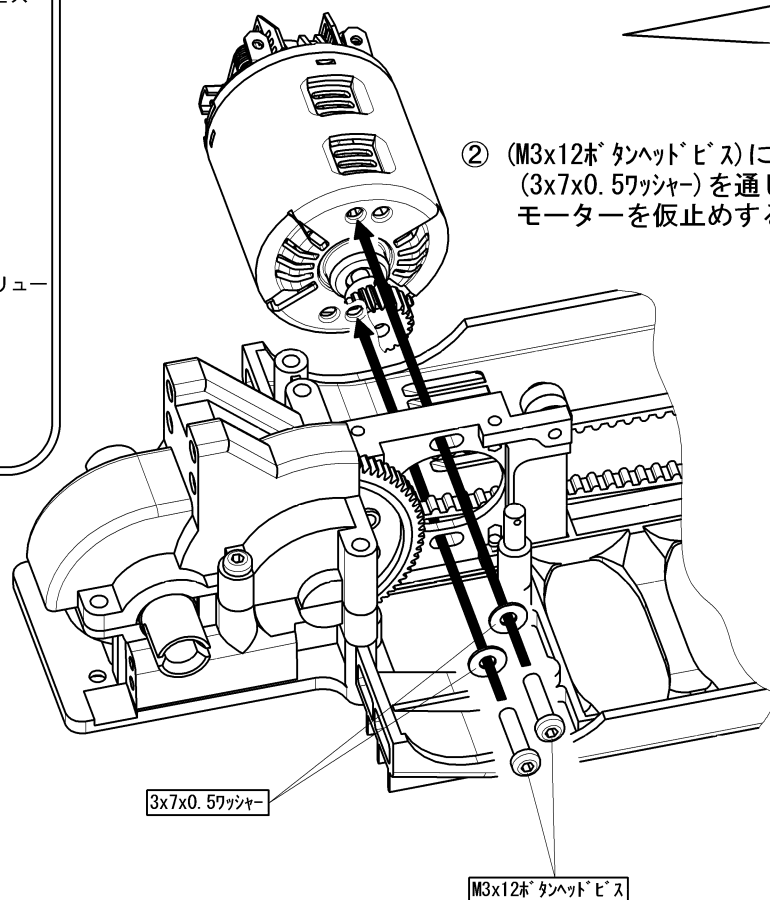
 ---×2 3×7×0.5 ワッシャー

 ---×1 22T ピニオンギヤ

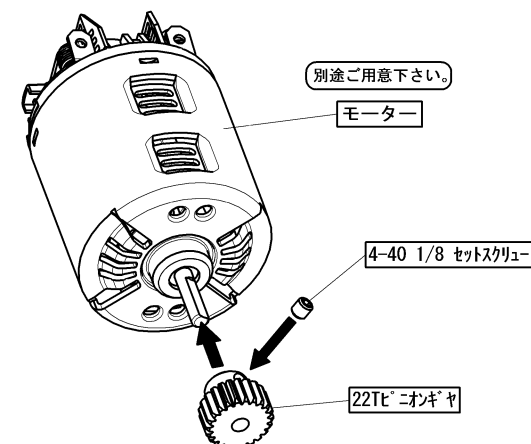
 ---×1 4-40 1/8セットスクリュー

 ---×1 アレンキー(1.27mm)

7 モーター、ピニオンギヤの取付け



① (22Tピニオン) に (4-40 1/8 セットスクリュー) を
ねじ込み、モーターの”D”カットに合わ
せてピニオンを仮止めする。

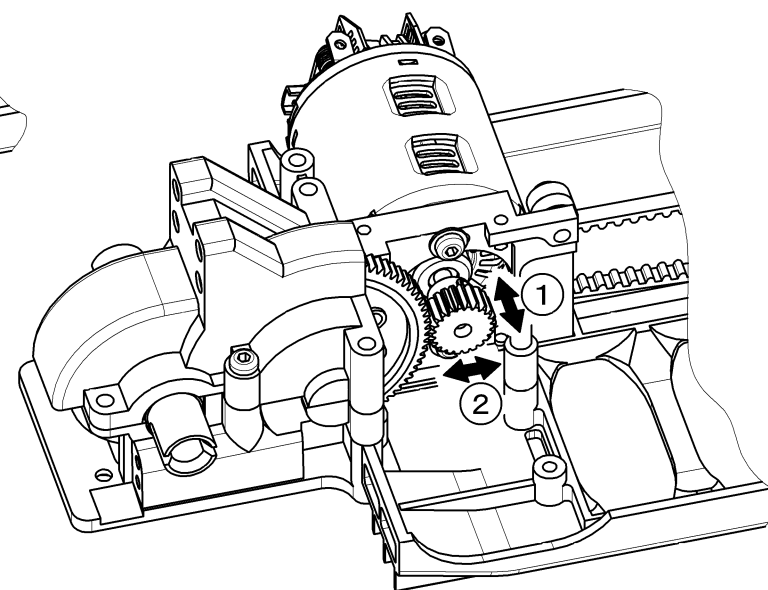


注意！①キットには、モーターは含まれておりませんので、別途
ご用意下さい。

②ピニオンの取付けは、モーターシャフトの”D”カット”
されている部分に、セットスクリューが当たる様に
しっかりと締め込んで下さい。

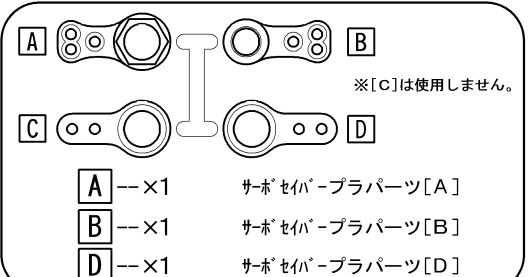
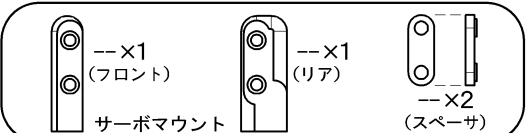
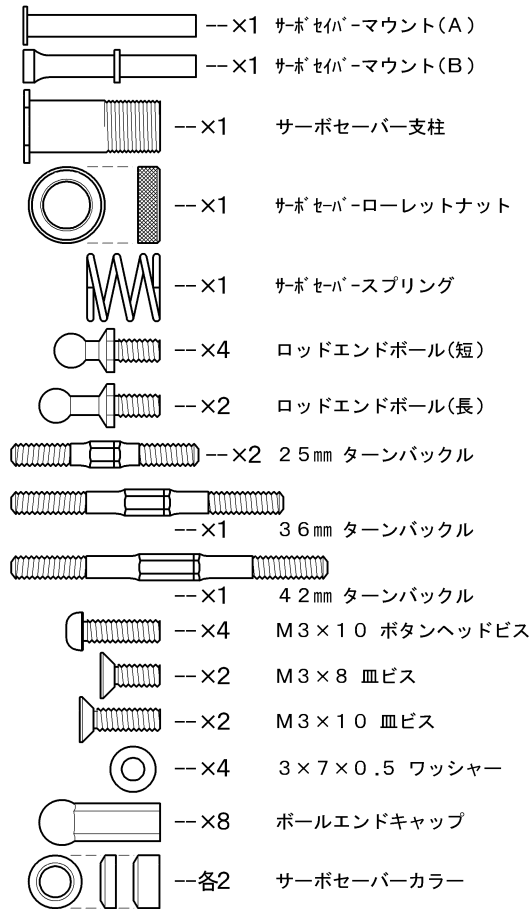
③バックラッシュは少し隙間が出来る程度に調整して下さい。
(調整不足は、ノイズ及びギヤ破損の原因になります。)

④連続走行はモーターに必要以上の負荷を掛けるだけでなく
寿命も短くなりますので、完全に冷えた事を確認してから
走行をさせて下さい。

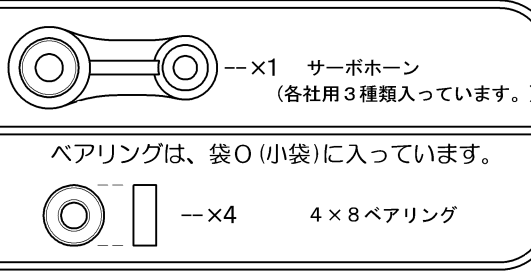
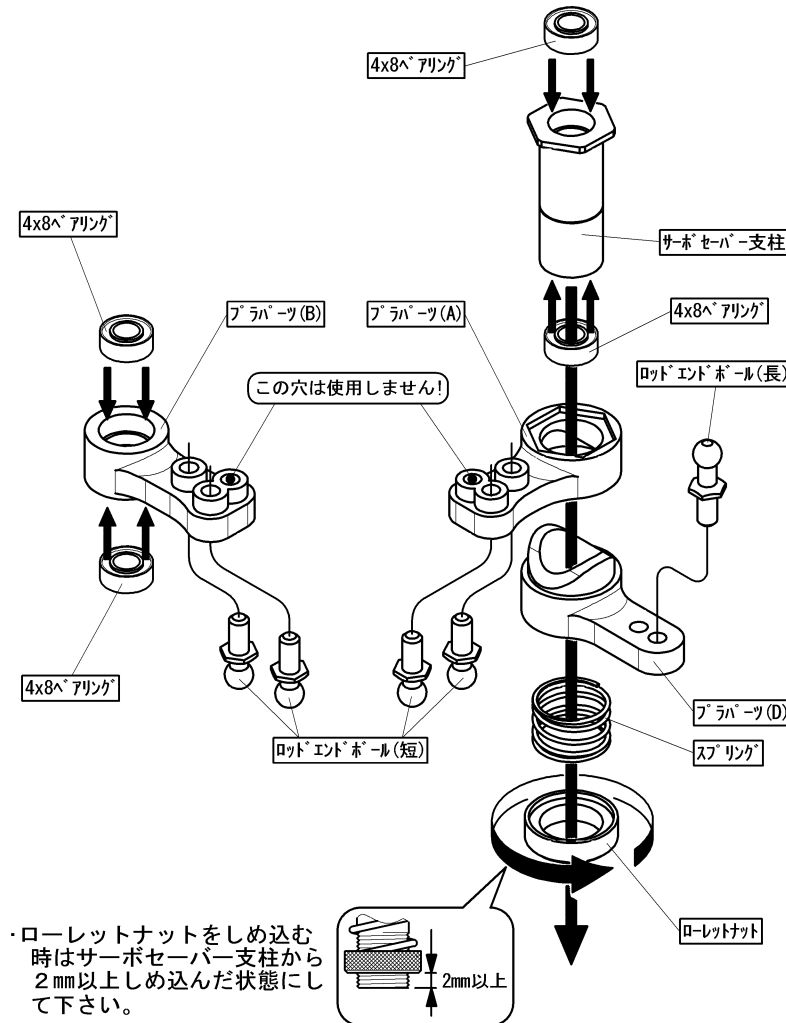


③ スパーギヤの歯幅にかみ合うようにピニオンギヤの
位置を調整し、セットスクリューを本締めする。
バックラッシュを合わせ、ボタンヘッドビス2本を
本締めする。

【 袋⑧ の内容 】

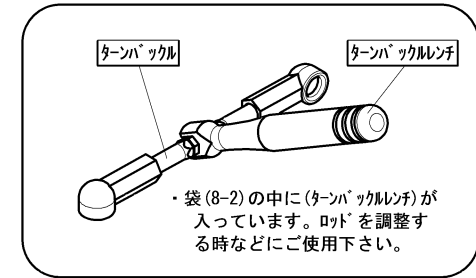


8 サーボセイバーの組立て

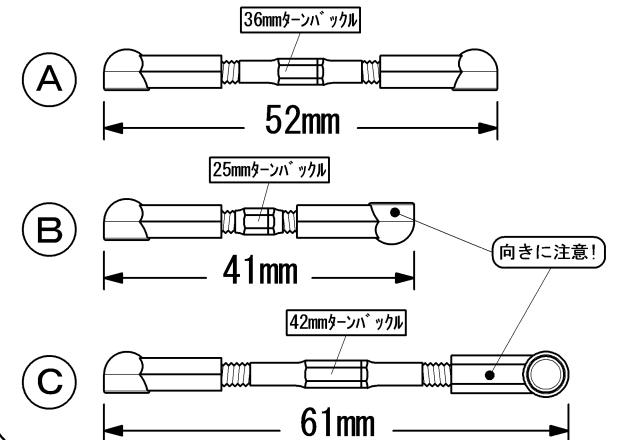
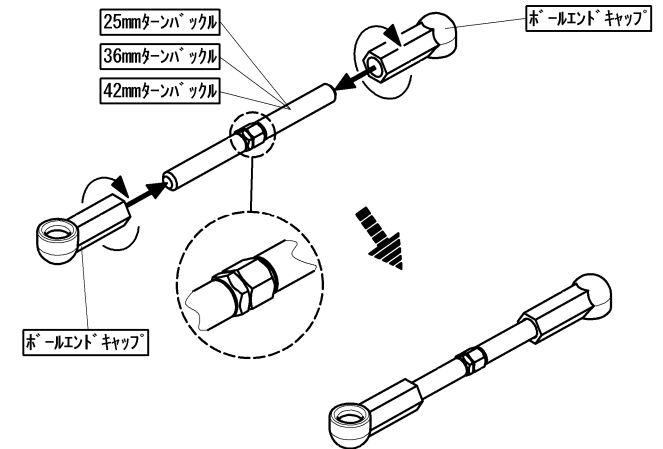


各タイロッドの組立て

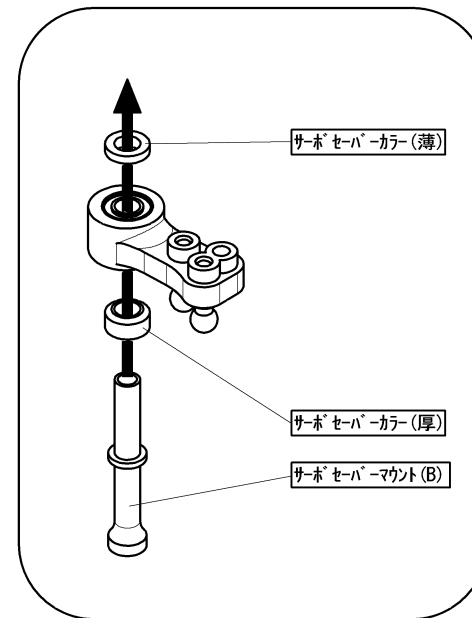
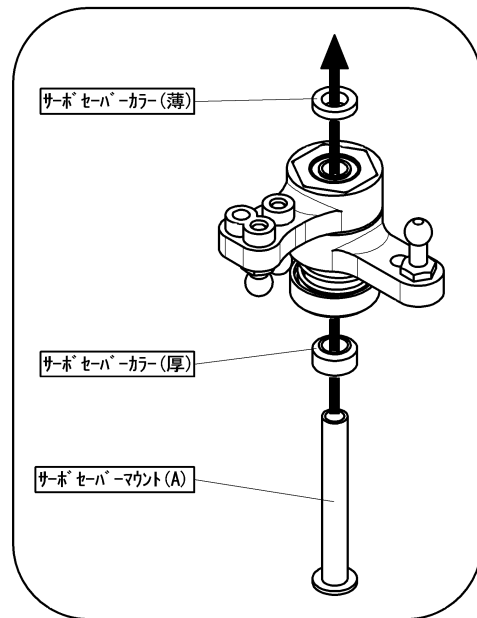
・各ボルトの両側から(ボールエンド)をねじ込み、指定の長さに揃えて下さい。



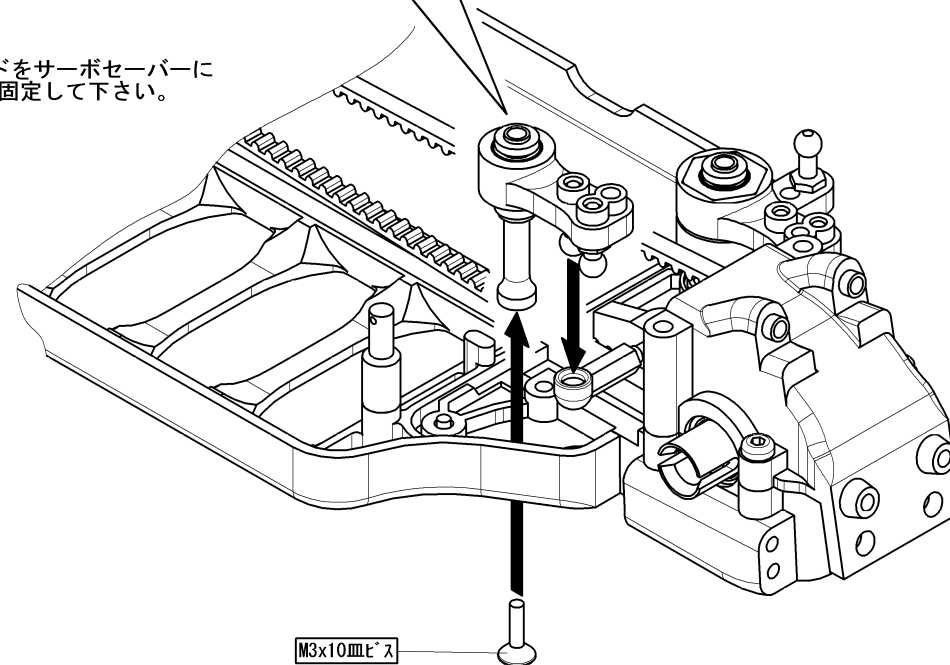
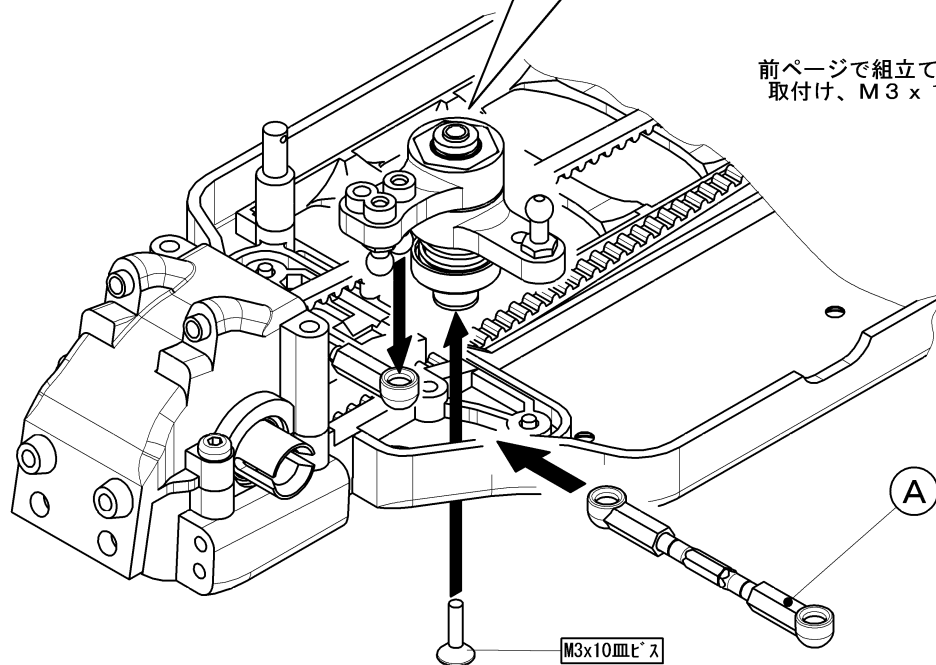
(片側が逆糸)になっています。



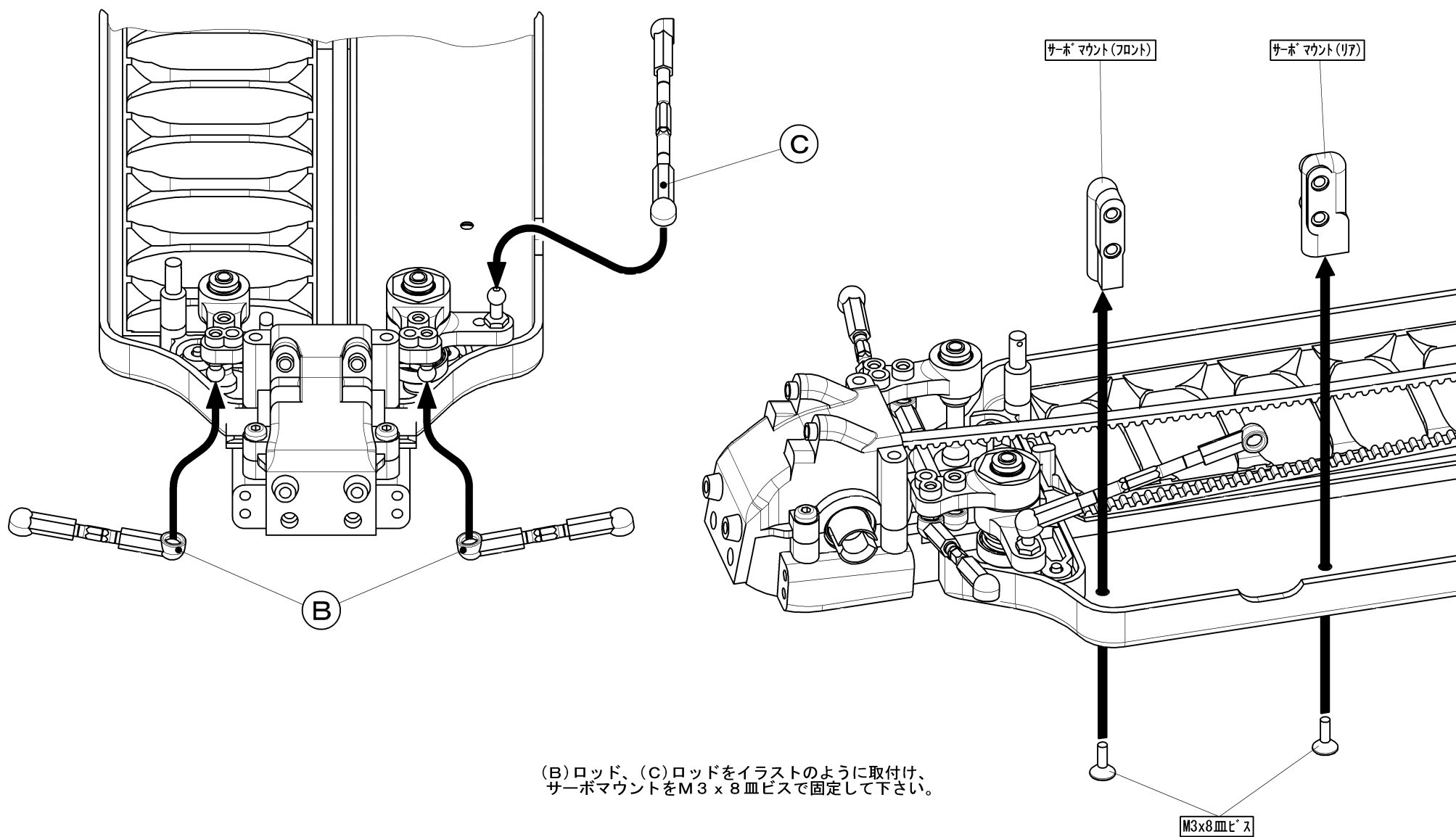
9 サーボセーバーの取付け



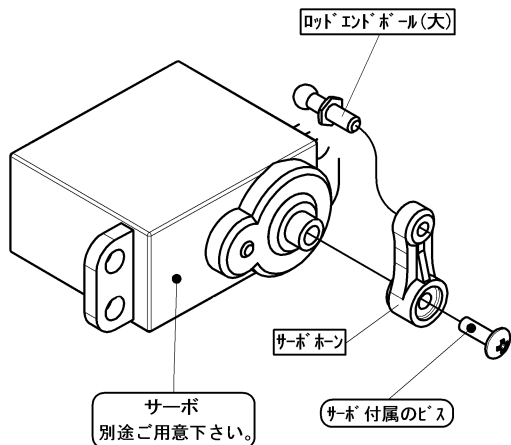
前ページで組立てた(A)ロッドをサーボセーバーに取付け、M3 x 10皿ビスで固定して下さい。



10 ステアリングタイロッド、サーボマウントの取付け



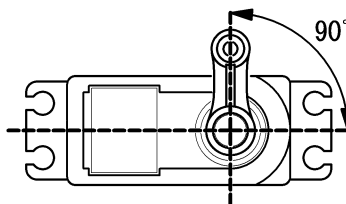
11 サーボの取付け



刻印	メーカー
F	フタバ
H	ハイテック
J K S	J R, K O, サンワ

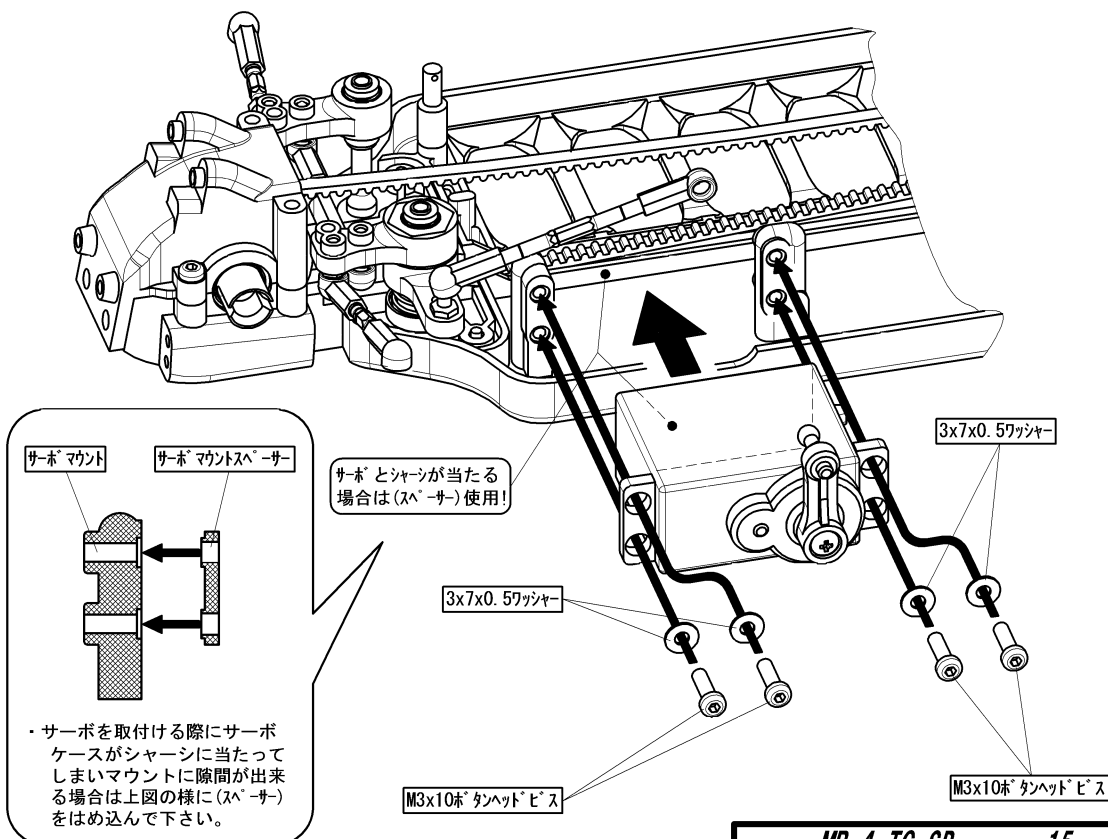
付属のサーボホーンには刻印が入っています。
ご使用になるメーカーに合わせてお選び下さい。

必ずサーボのニュートラルを出してから、サーボホーンを垂直に取付けて下さい。(下図参照)

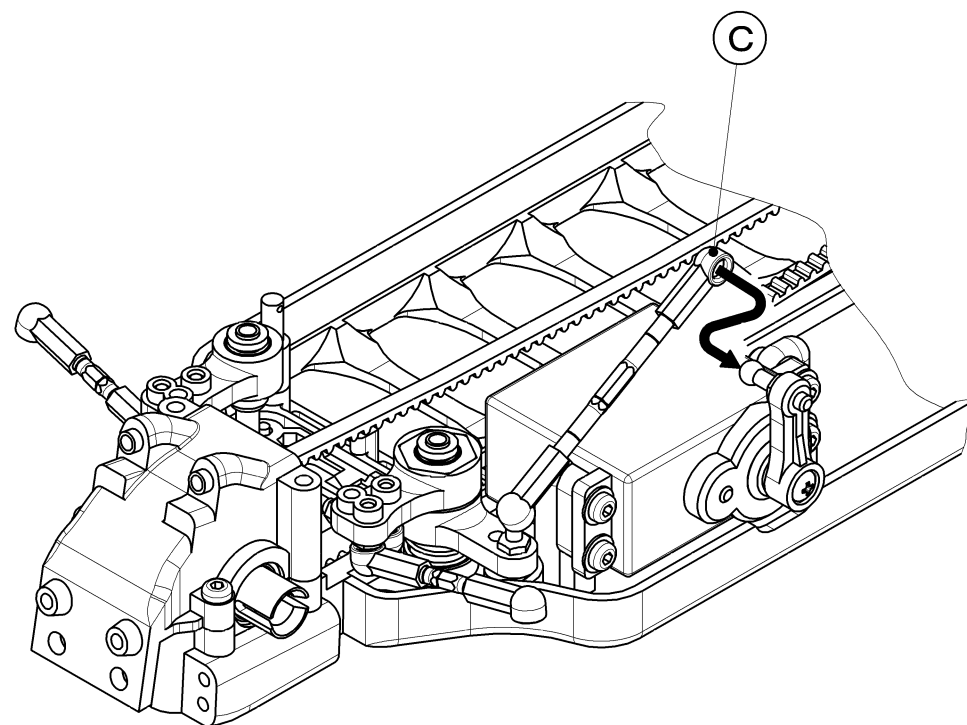


注意！①(サーボホーン)を取付ける前に必ず、サーボのニュートラルを出して下さい。
(詳しくは送信機の説明書をご覧ください。)

②キット付属の(サーボホーン)は3種類用意されています。
必ずご使用になるサーボ(メーカー)に合ったホーンをお使い下さい。
(形が合わないサーボホーンを使うとサーボに無理な力が掛かり、故障の原因になります。)

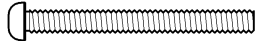
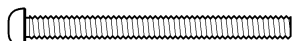


・サーボを取付ける際にサーボケースがシャーシに当たってしまいマウントに隙間が出る場合は上図の様に(スペーサー)をはめ込んで下さい。

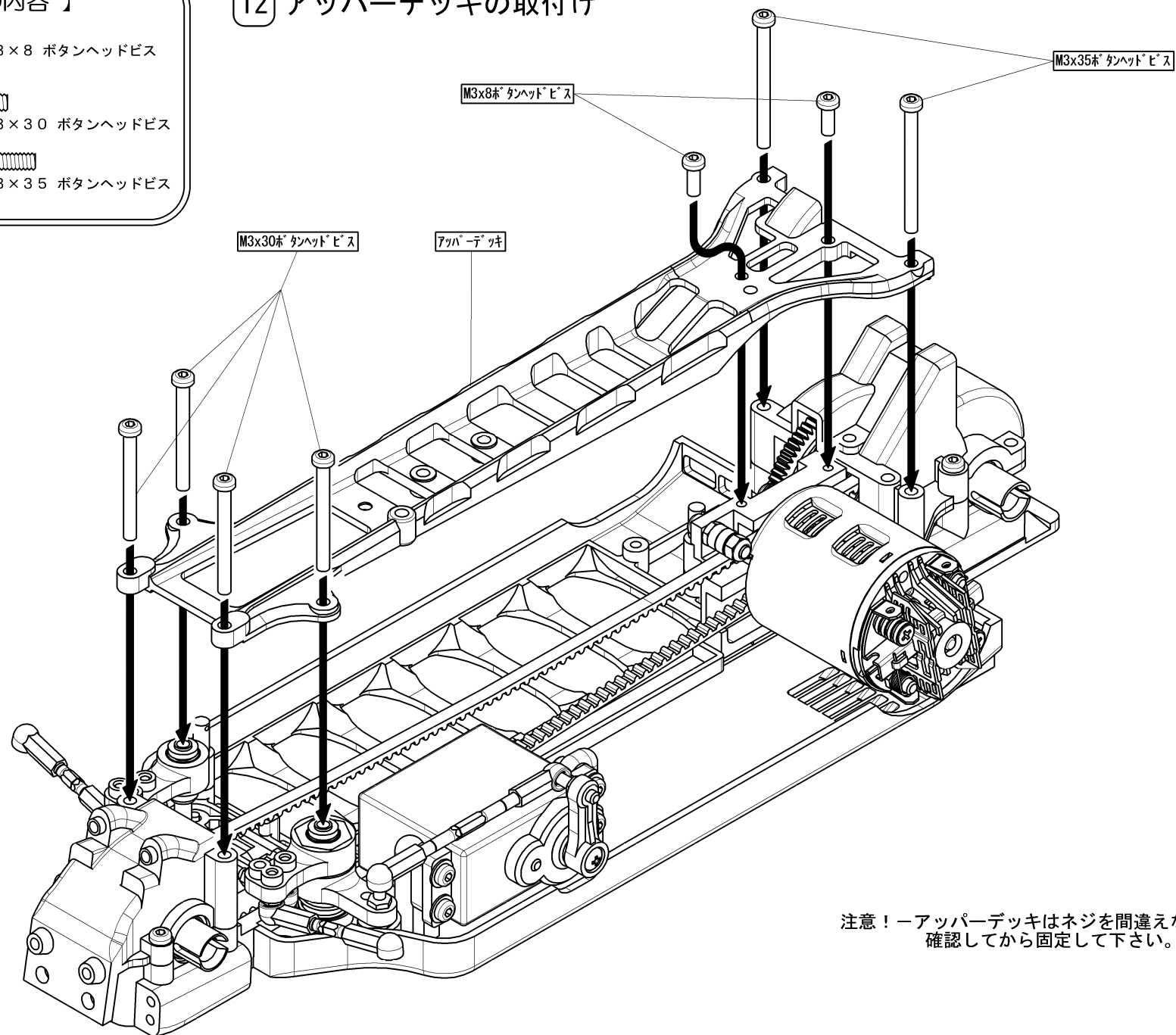


シャーシにサーボを取付けたら、(C)ロッドを(エンドボール大)にはめ込んで下さい。

【 袋-⑨ の内容 】

-  ---×2 M3×8 ボタンヘッドビス
 --×4 M3×30 ボタンヘッドビス
 --×2 M3×35 ボタンヘッドビス

12 アッパーデッキの取付け



注意！－アッパーデッキはネジを間違えないように確認してから固定して下さい。

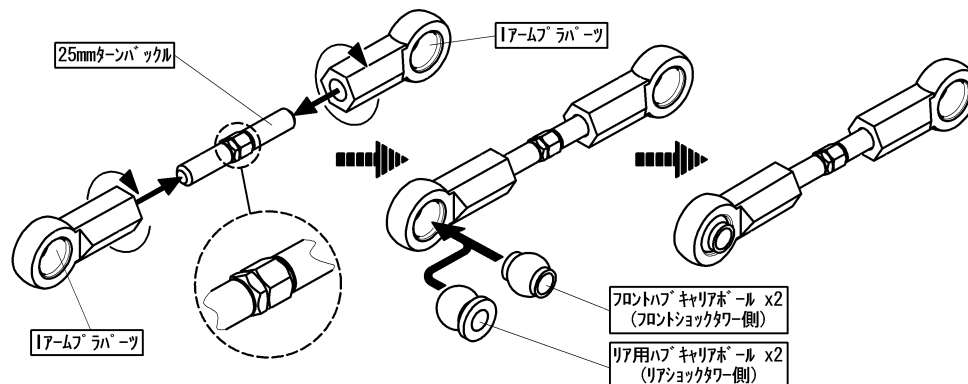
【 袋-⑩ の内容 】

- 25mm ターンバックル ---x4 25mm ターンバックル
- 17mm プラパーツ ---x8 17mm プラパーツ
- フロントハブキャリアボール ---x2 フロントハブキャリアボール
- リアハブキャリアボール ---x2 リアハブキャリアボール

【 袋-⑪ の内容 】

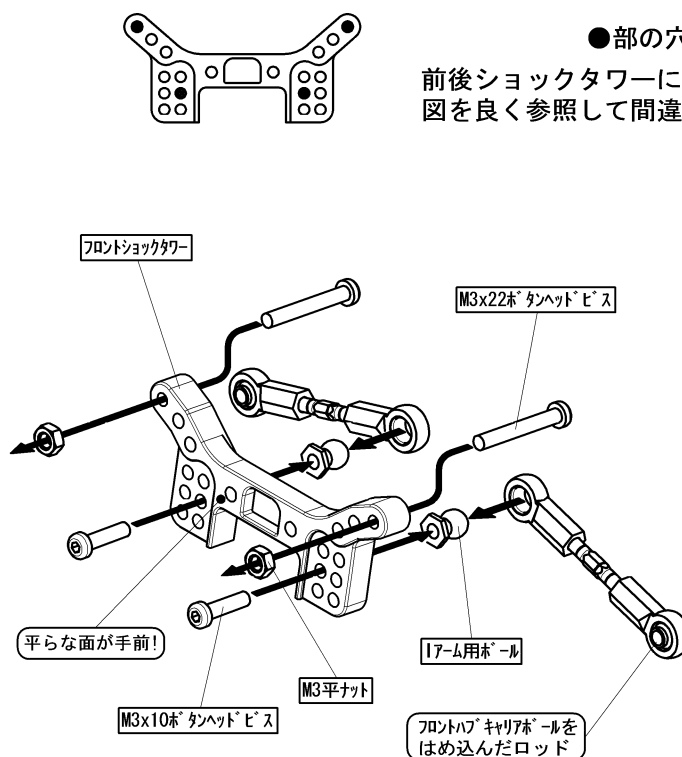
- M3x10 ボタンヘッドビス ---x4 M3x10 ボタンヘッドビス
- M3x12 ボタンヘッドビス ---x2 M3x12 ボタンヘッドビス
- M3x18 ボタンヘッドビス ---x4 M3x18 ボタンヘッドビス
- M3x22 ボタンヘッドビス ---x4 M3x22 ボタンヘッドビス
- M3 平ナット ---x4 M3 平ナット
- 17mm 用ボール ---x4 17mm 用ボール
- フロントショックタワー ---x1 フロントショックタワー
- リアショックタワー ---x1 リアショックタワー
- リアショックタワースペーサ ---x1 リアショックタワースペーサ

13 前後アッパーアームの組立て

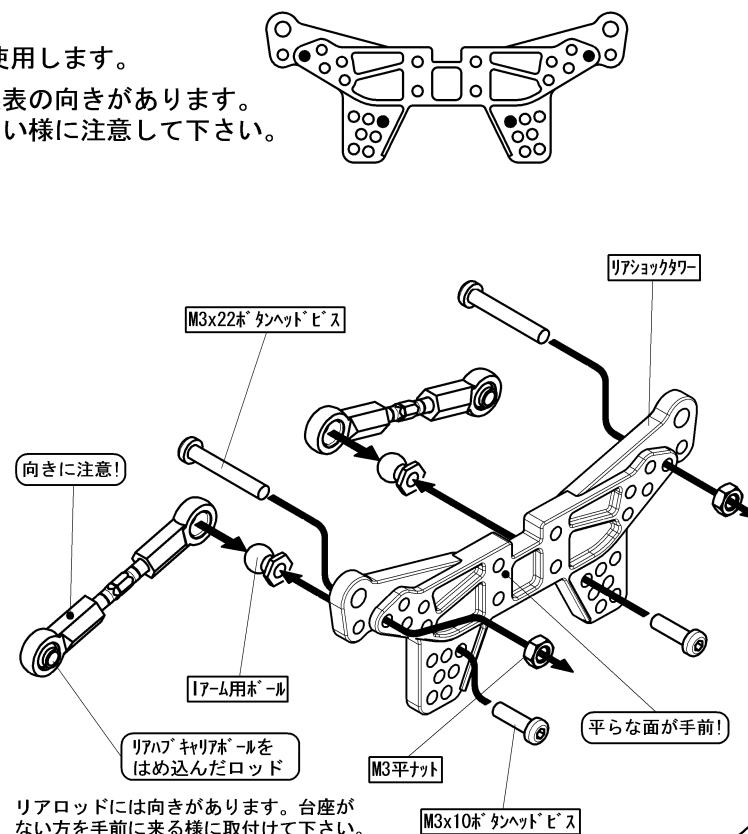


・(ターンバックル)の両側から(17mm プラパーツ)をねじ込み、指定の長さに揃えて下さい。

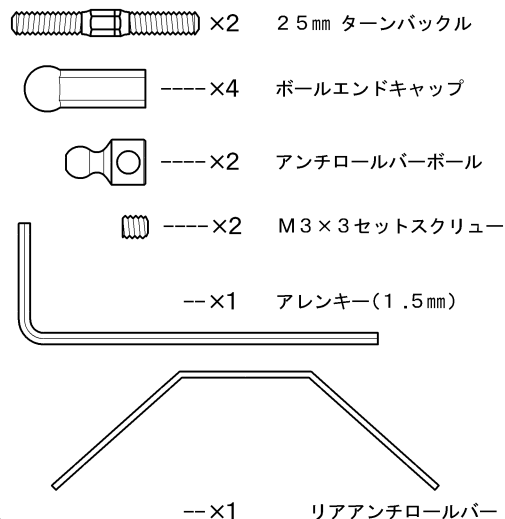
フロントショックタワーに取付け



リアショックタワーに取付け

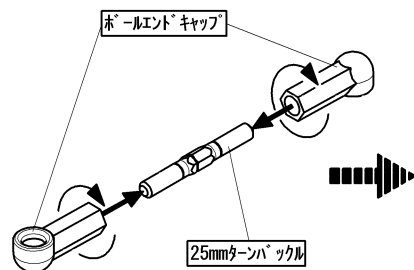


【 袋⑪ の内容 】

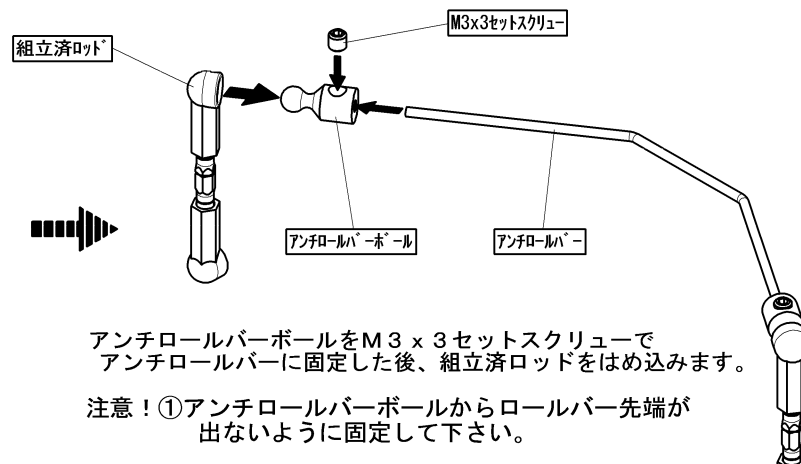
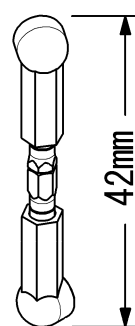


14 前後ショックタワーの取付け

リアアンチロールバーの組立て

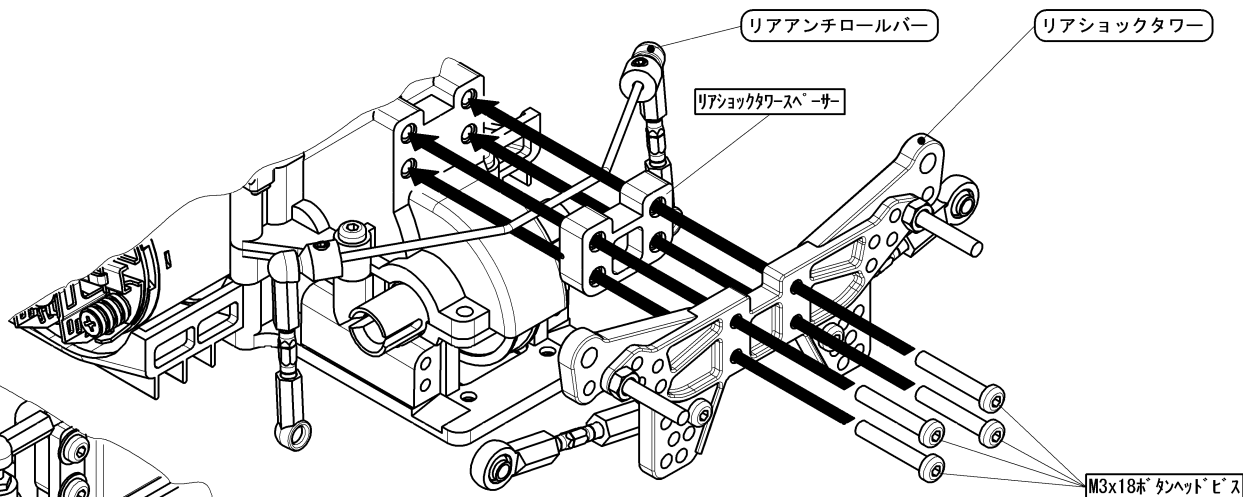
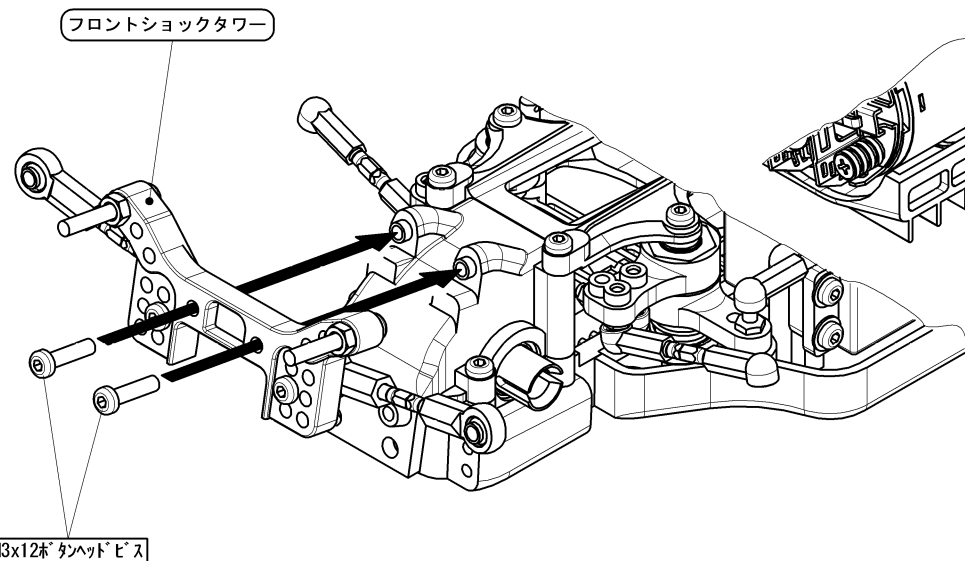


ロッドの長さが42mmになる様に調整します。
(2本ロッドを作ります。)



アンチロールバーボールをM3 x 3 セットスクリューでアンチロールバーに固定した後、組立済ロッドをはめ込みます。

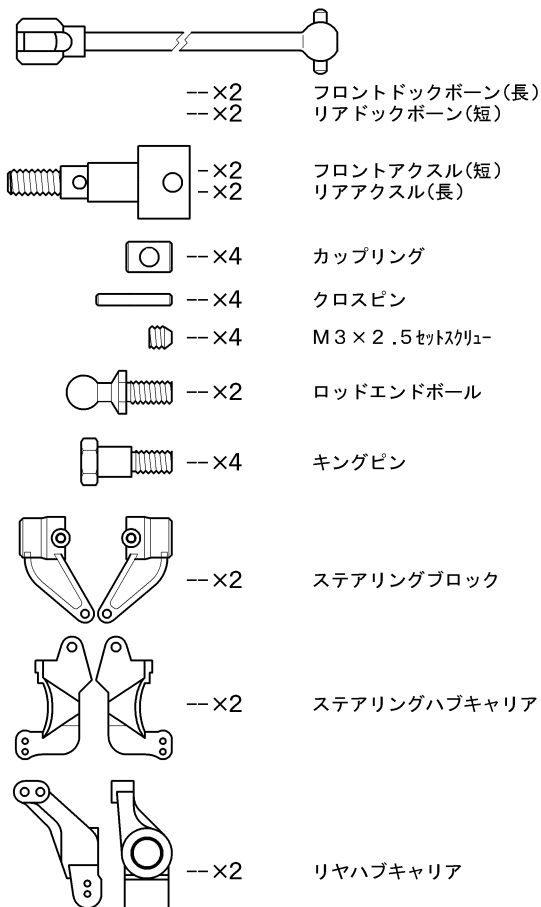
注意！①アンチロールバーボールからロールバー先端が出ないように固定して下さい。



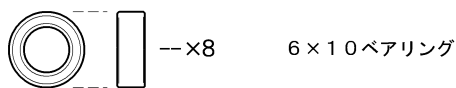
注意！②フロントショックタワー、リアショックタワーを取付ける時は、互いのクボミにしっかりとめ込み指定のビスで固定して下さい。

③リアアンチロールバーはリアショックタワーのミゾにはめ込み、ショックタワーと共にめします。(共にめした状態で、アンチロールバーの動きが渋い場合は、カッターなどでスペーサーのミゾを少しずつ削り、ガタがなく軽く動くように調整して下さい。)

【 袋⑫ の内容 】



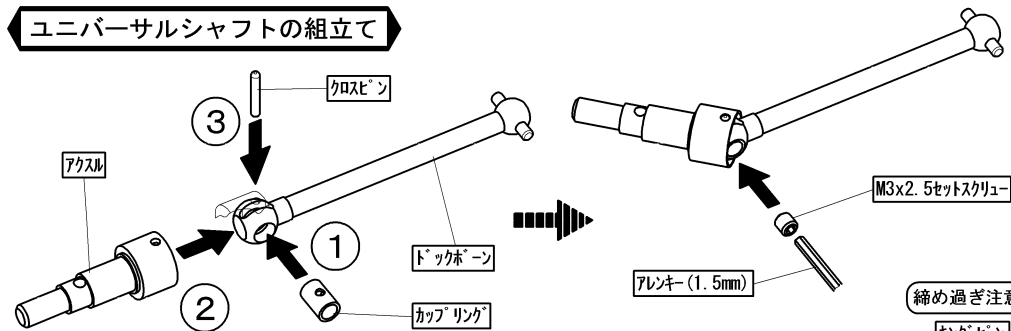
ベアリングは、袋O(小袋)に入っています。



注意！②(ステアリングブロック)及び(ステアリングハブキャリア)は左右があります。
 逆に組立ててしまうと、ステアリングを切る事が出来
 なくなりますので、十分ご注意ください。
 (リアハブキャリア)は、この段階での左右の区別はありません。)

15 フロント&リアハブキャリアの組立て

ユニバーサルシャフトの組立て

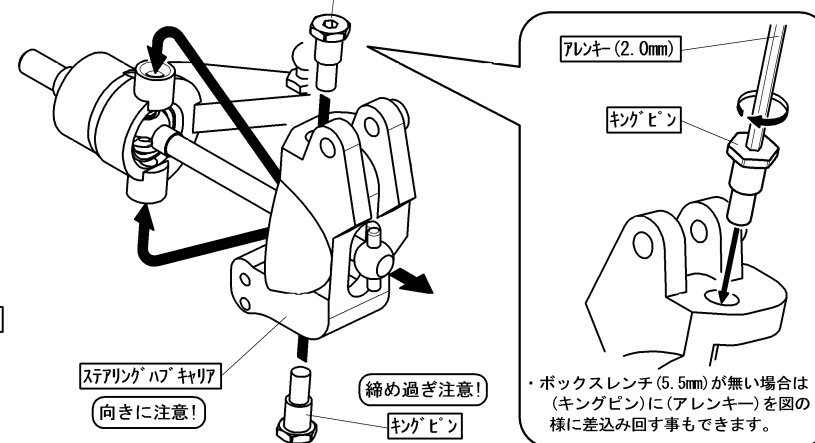
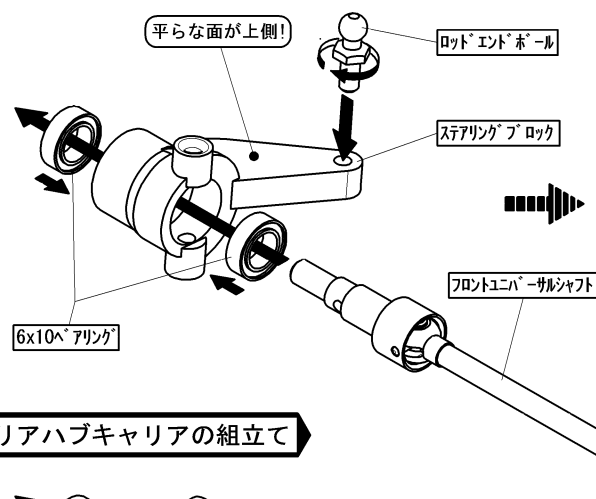


注意！①ドックボーン及びアクスルには
 長さ違いで前後の区別があります。
 必ず下記表の組合せになる様に
 組立てを行って下さい。

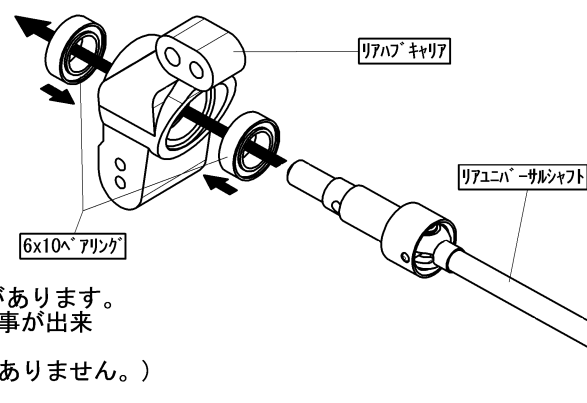
	ドックボーン	アクスル
フロント用	長い	短い
リア用	短い	長い

※必ず表の組合せで組立てる事。

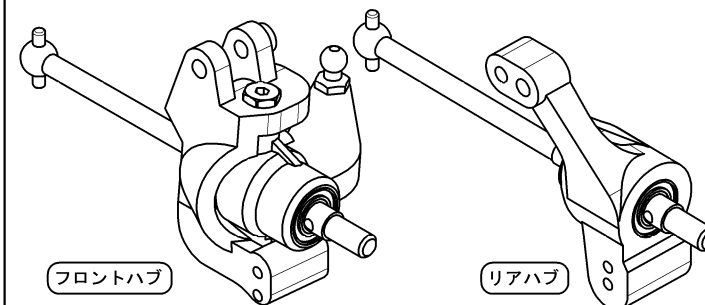
フロントハブキャリアの組立て



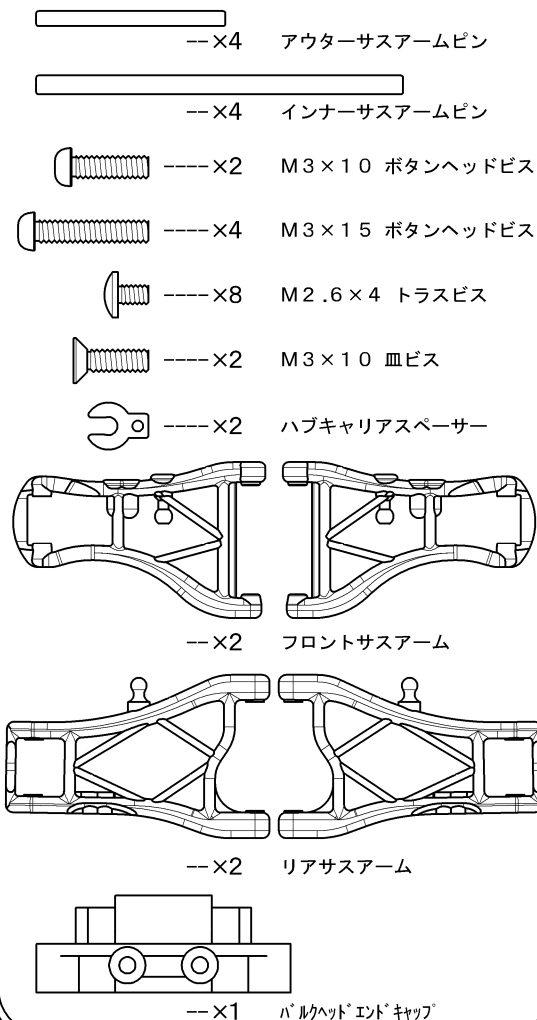
リアハブキャリアの組立て



【 反対側も同じ様に組立てます。 】

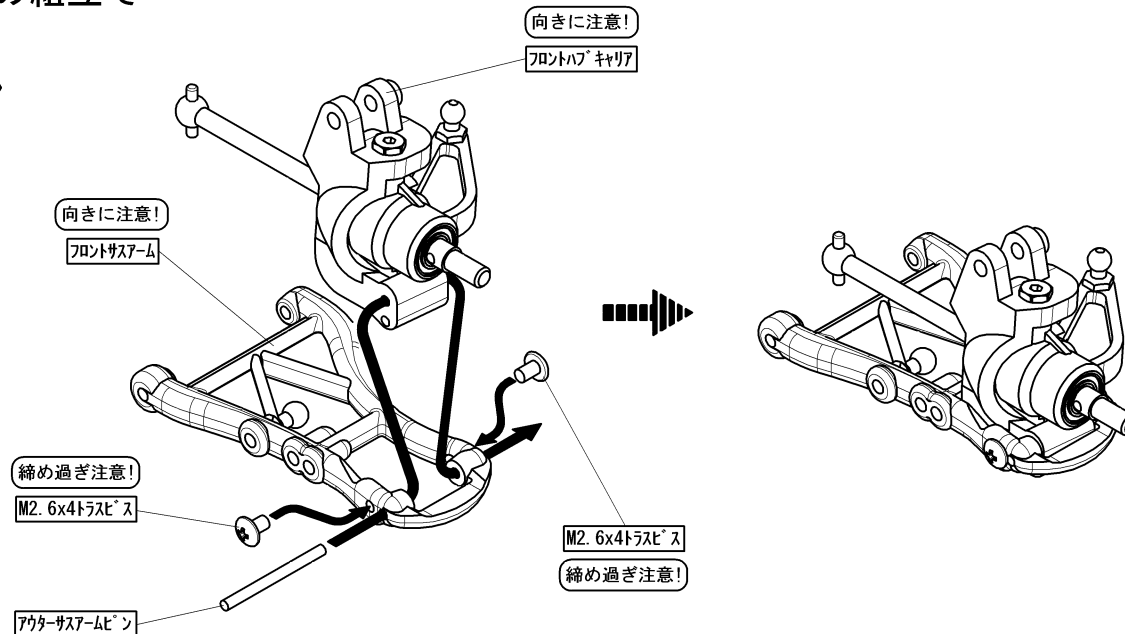
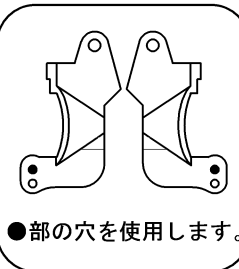


【袋⑬の内容】



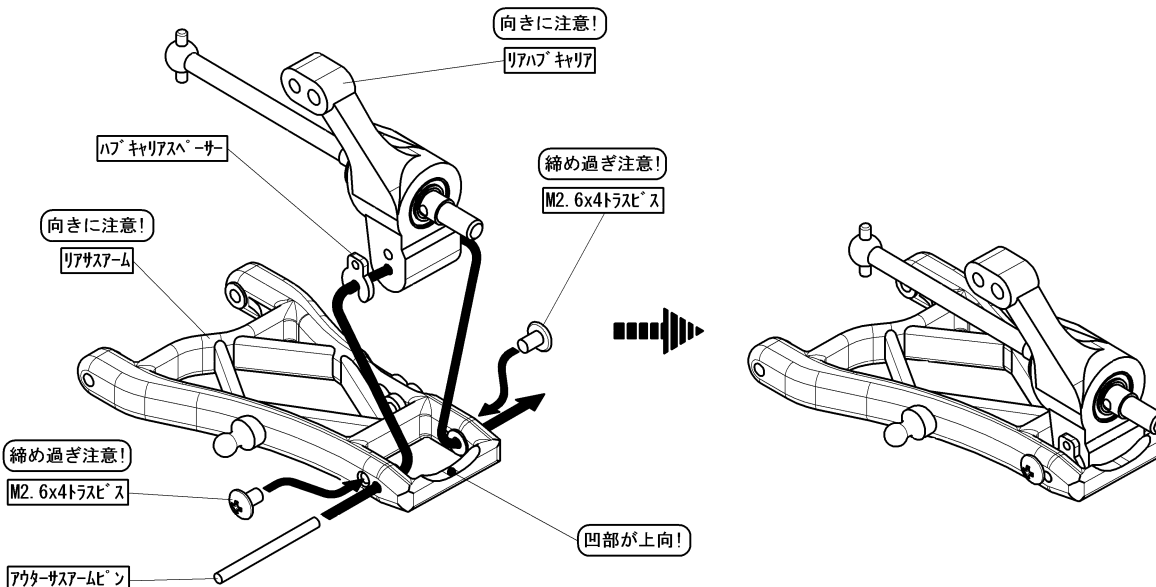
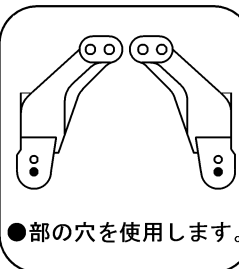
16 サスアームの組立て

フロントサスアーム



【反対側も同じ様に組立てます。】

リアサスアーム



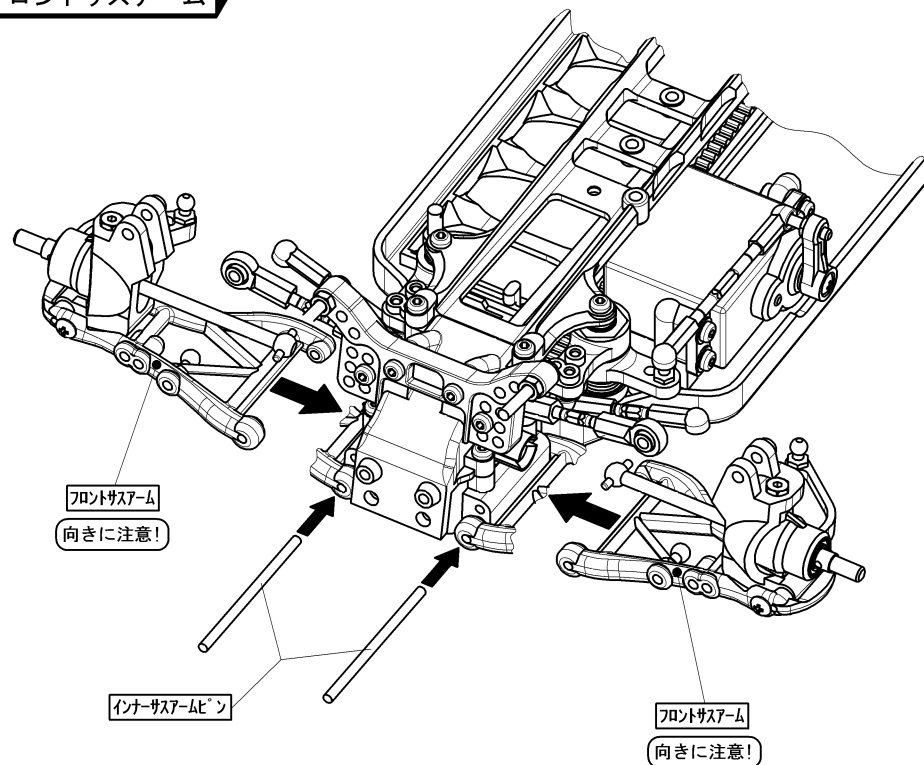
注意! ①(フロントサスアーム)及び(リアサスアーム)に(M2.6x4トラスビス)をねじ込む時は、電動ドライバーなどを使用しないで下さい。
(繊維が多い材料を使用している為、ネジ穴が崩れます。)

②(M2.6x4トラスビス)をねじ込む時は、奥まで締めた後、1/4回転戻して下さい。
(締め過ぎるとアームの動きが渋くなります。)

③(フロントサスアーム)(リアサスアーム)には、前後の向きがあります。
図を良く参照して間違いの無い様に組立てて下さい。

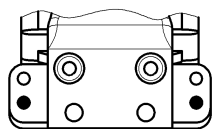
17 前後サスアームの取付け

フロントサスアーム



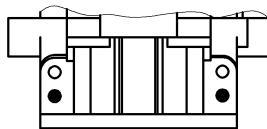
【●部の穴を使用します。】

フロントバルクヘッド



下側を使用!

リアバルクヘッド



下側を使用!

注意! ①前後ユニバーサルシャフトのピンには必ず(ブラック)グリスを塗る様にして下さい。

②前工程で組立てた前後サスアームには、左右の向きがあります。図を良く参照して間違いの無い様に組立てて下さい。

【取付け前にちょっと注目!】



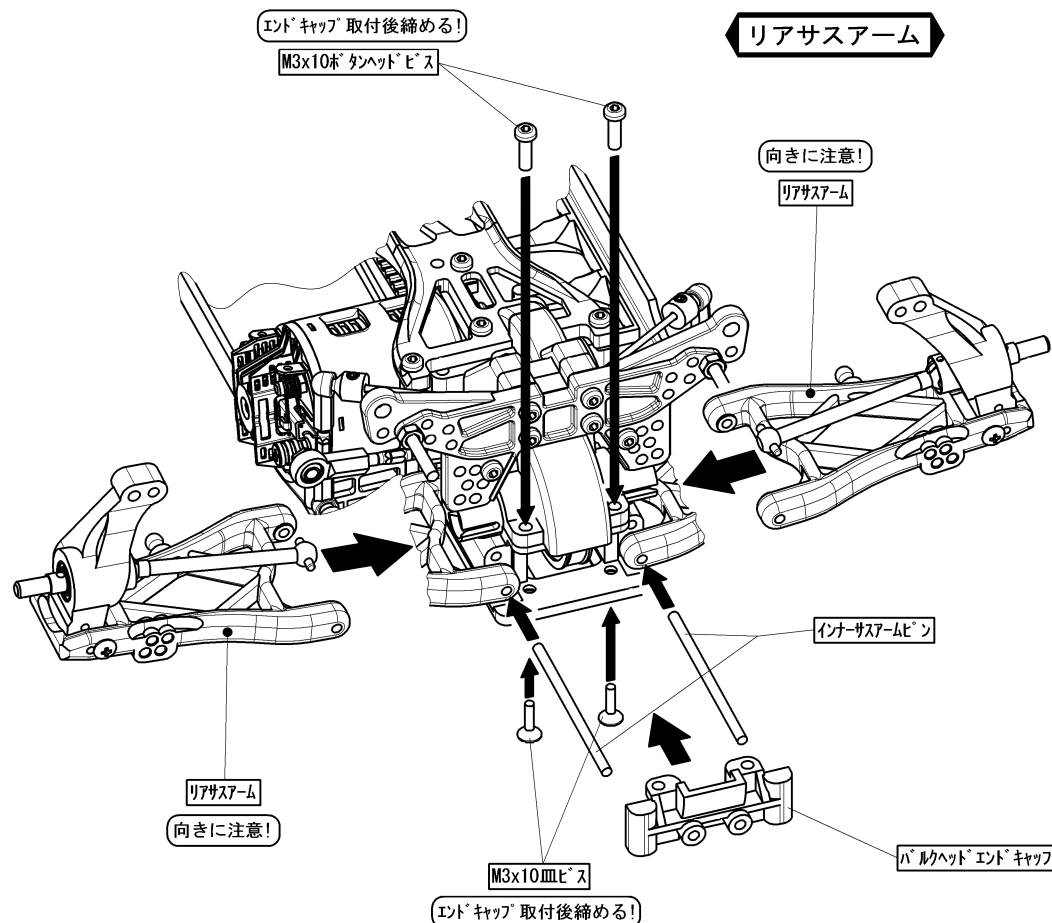
ステルスループは使用不可!
(白色のグリス)



ブラックグリス
(黒色のグリス)

・前後ユニバーサルシャフトのピンには必ず
(ブラックグリス)を塗る事。

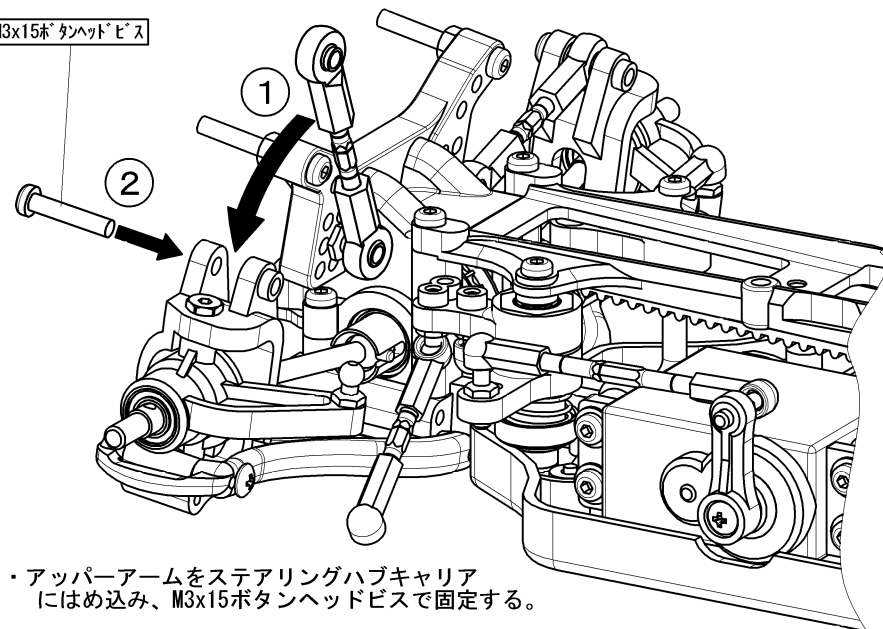
リアサスアーム



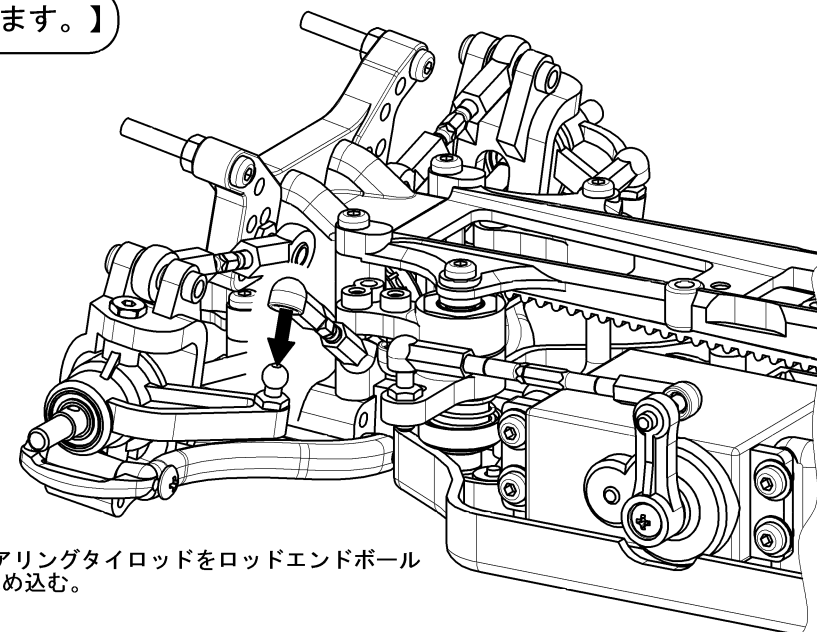
18 アッパーアーム、タイロッドの取付け

【 反対側も同じ様に固定します。】

M3x15ボタンヘッドビス



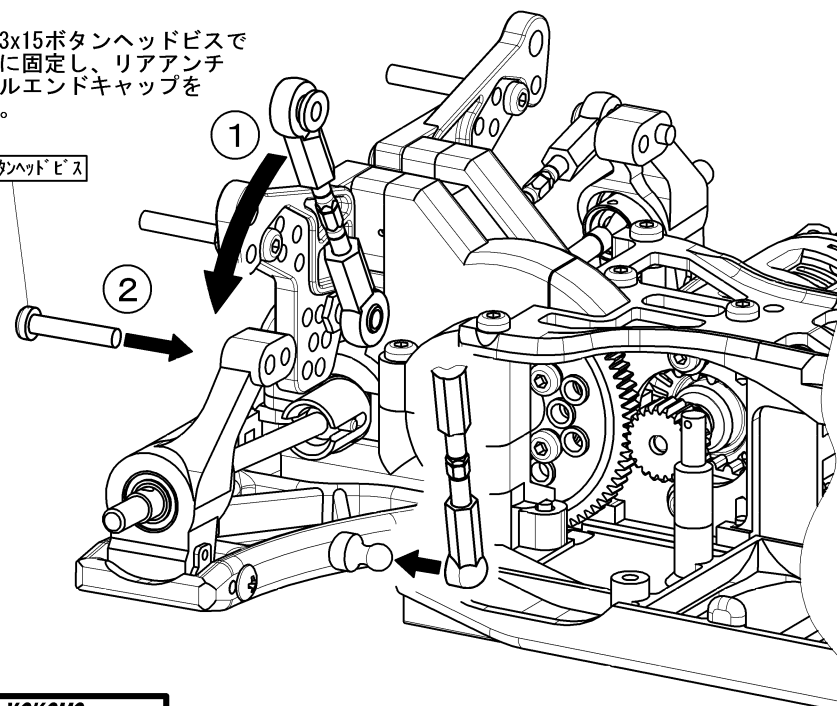
- ・アッパーアームをステアリングハブキャリアにはめ込み、M3x15ボタンヘッドビスで固定する。



- ・ステアリングタイロッドをロッドエンドボールにはめ込む。

- ・アッパーアームをM3x15ボタンヘッドビスでリアハブキャリアに固定し、リアアンチロールバーのボールエンドキャップをアームにはめ込む。

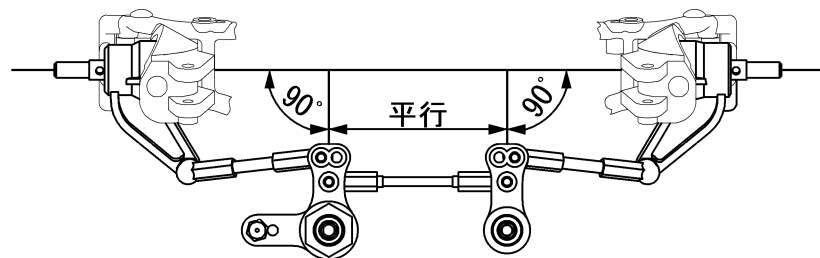
M3x15ボタンヘッドビス



基本リンケージ調整

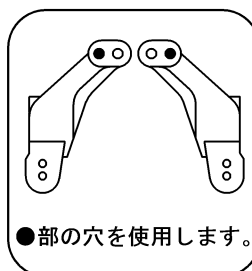
全てのロッドが付いたら必ず調整！

- ・左右シャフトが一直線になる様にします。



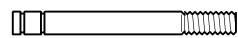
- ・サーボセーバーが平行になる様にセンタータイロッドを調整します。

※ 長さ調整は各ロッドを回して行います。



●部の穴を使用します。

【 袋⑭の内容 】



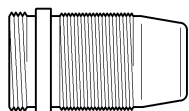
--×4 ショックシャフト



----×8 2mm Eリング



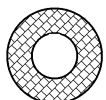
--×4 ショックスプリング



--×4 ショックシリンダー



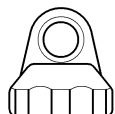
----×8 Oリング(クリア)



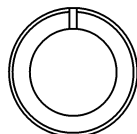
----×4 ショックスポンジ



----×4 Oリング(φ10)

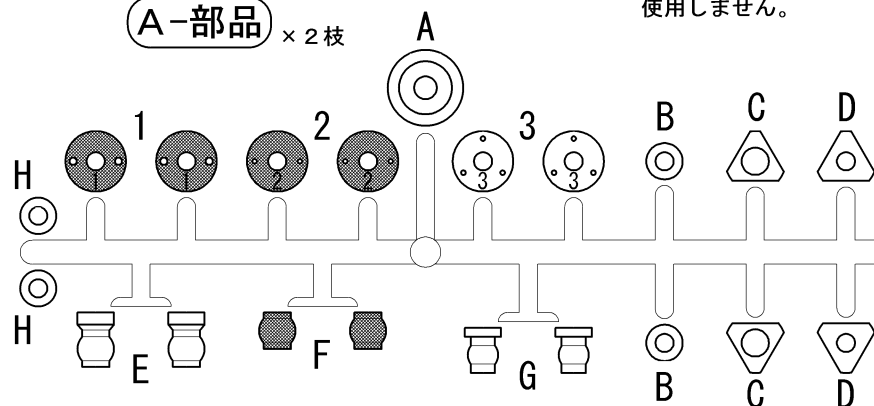


----×4 ショックキャップ



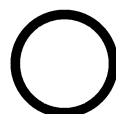
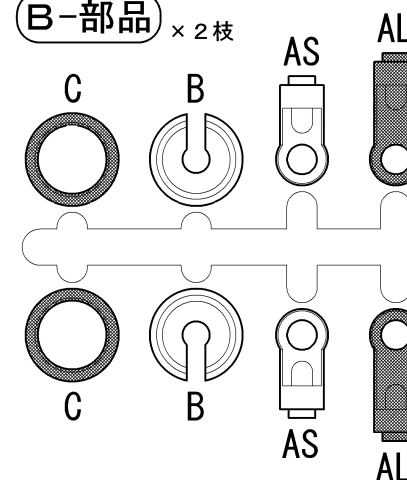
----×4 アジャストナット

A-部品 × 2 枝



部の部品は
使用しません。

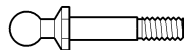
B-部品 × 2 枝



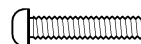
--×4 Oリング(φ12)



----×4 M2×5 タッピングビス



--×2 ロングエンドボール

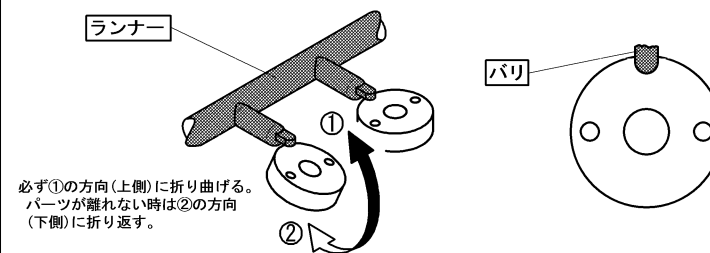


--×2 M3×15 ボタンヘッドビス



--×4 M3ナイロンナット

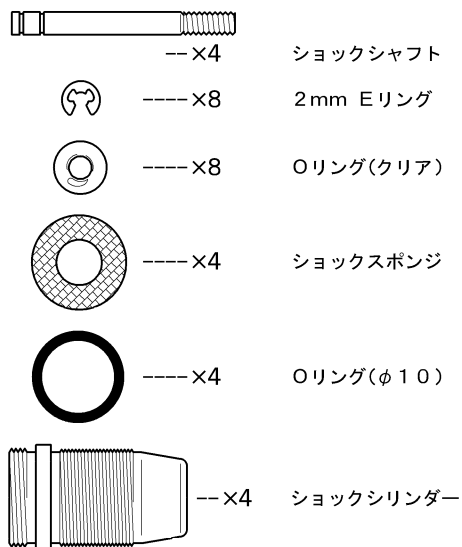
【ランナーから使用するパーツを切り離す】 【バリはカッターで切り落とす】



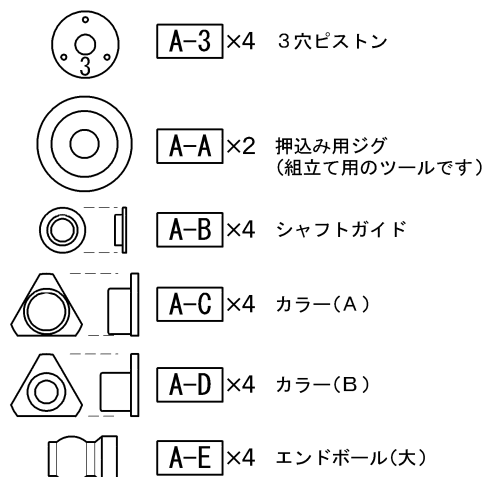
必ず①の方向(上側)に折り曲げる。
パーツが離れない時は②の方向
(下側)に折り返す。

注意！ーランナーからパーツを切り離す際は、図の様に
折り曲げ、もしくはニッパーなどで切り離し
て下さい。なお、パーツにバリなどが残って
しまった場合は、カッターなどで丁寧に切り
落として下さい。

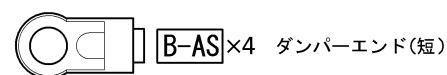
【このページの使用パーツ】



【A-部品】

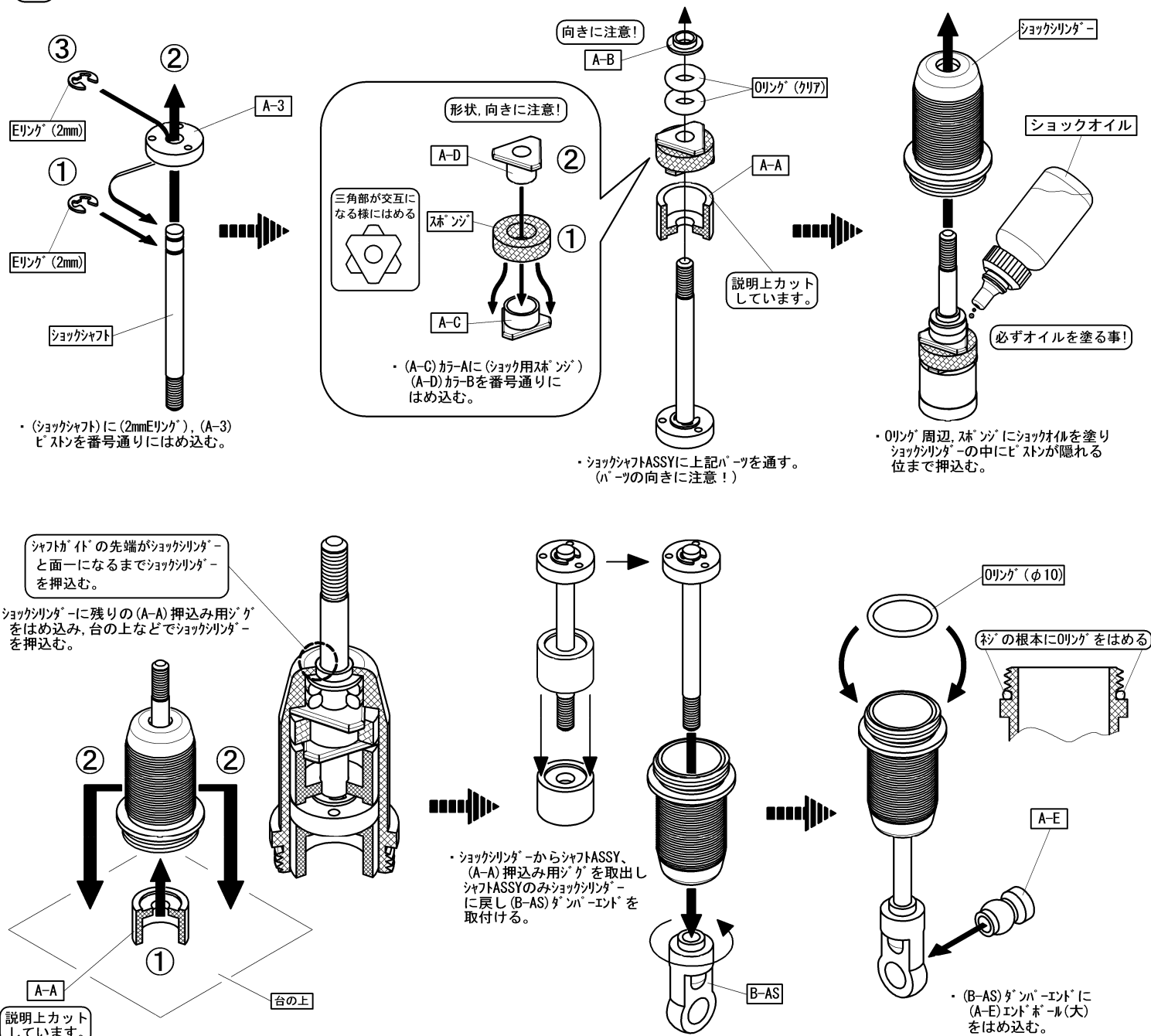


【B-部品】



・ショックオイルはキット箱に入っています。

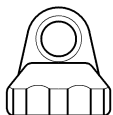
19 前後ダンパーの組立て(本体編-4本作ります。)



【このページの使用パーツ】



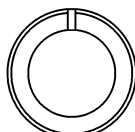
---×4 ショックスプリング



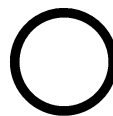
---×4 ショックキャップ



---×4 M2×5 タッピングビス



---×4 アジャストナット



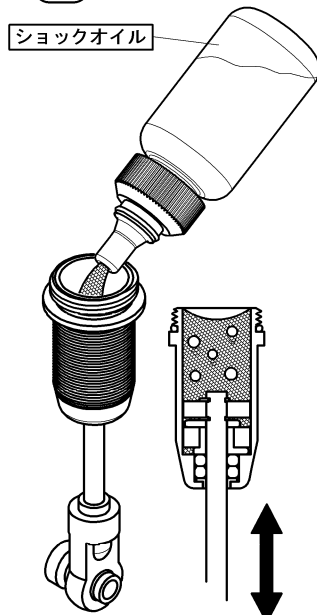
---×4 Oリング(φ12)

【B-部品】

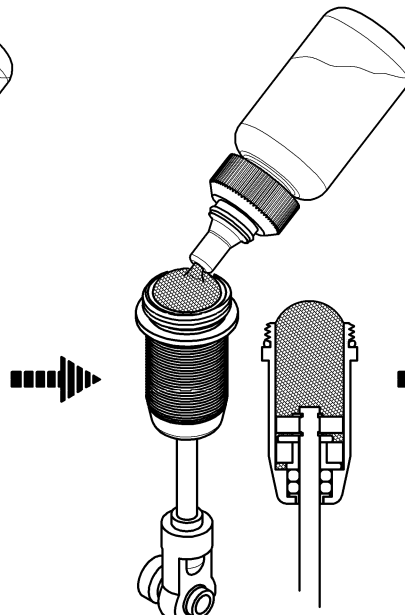


B-B×4 スプリングストッパー

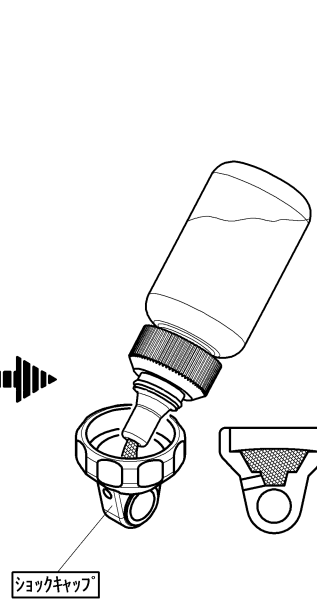
19 前後ダンパーの組立て(オイル注入編-4本作ります。)



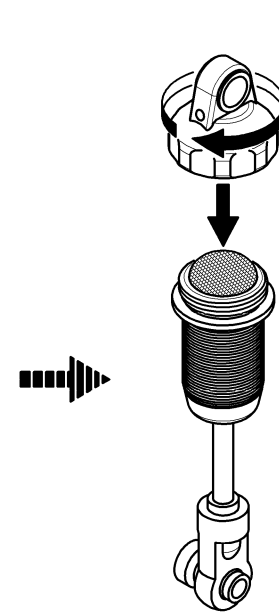
・ショックシリンダーにショックオイルを入れ、シャフトを上下にゆっくりと動かし気泡を抜く。



・シリンダーの口元いっぱいまでショックオイルを入れる。(気泡を入れない様に注意！)

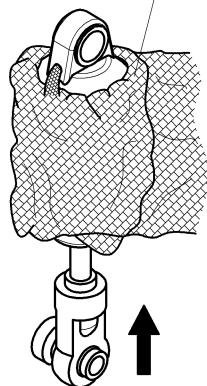


・(ショックキャップ)にも半分位ショックオイルを入れる。



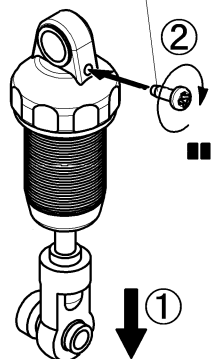
・オイルをこぼさない様にショックキャップをショックシリンダーにねじ込む。

ティッシュペーパー



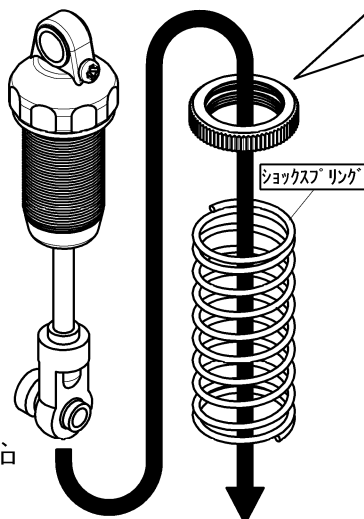
・ショックシリンダーにティッシュペーパーを巻き付けショックシャフトが止まるまで、ゆっくりと押上げる。
(オイルが出て来ない場合はダンパー本体を台の上などに置き、ショックキャップのオイル噴出し口からショックオイルを入れながらシャフトを少しずつ引いて注入して下さい。)

M2x5タッピングビス



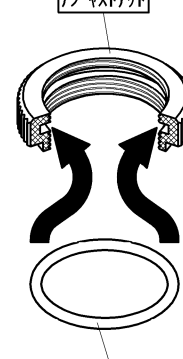
・ショックシャフトをいっぱいまで、ゆっくりと引出し、(M2x5タッピングビス)をショックキャップのオイル噴出し口にしっかりとねじ込む。
(ねじ込みが緩いとオイルが漏れてきます。)

・ショックシリンダーにアジャストナットをねじ込み(ショックスプリング)を通す。



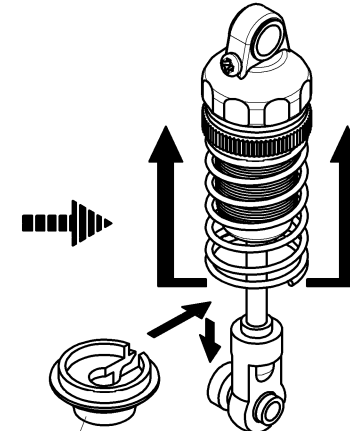
説明上カット
しています。

アジャストナット

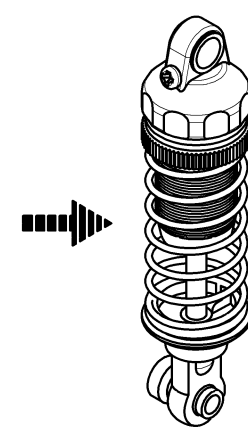


Oリング(φ12)

・(アジャストナット)の中溝に(Oリングφ12)をはめ込む。



・ショックスプリングを押上げながら(B-B)スプリングストッパーをシャフトにはめ込む。



ダンパー
の完成!

【このページの使用パーツ】

—×2 M3×15 ボタンヘッドビス

—×4 M3ナイロンナット

—×2 ロングエンドボール

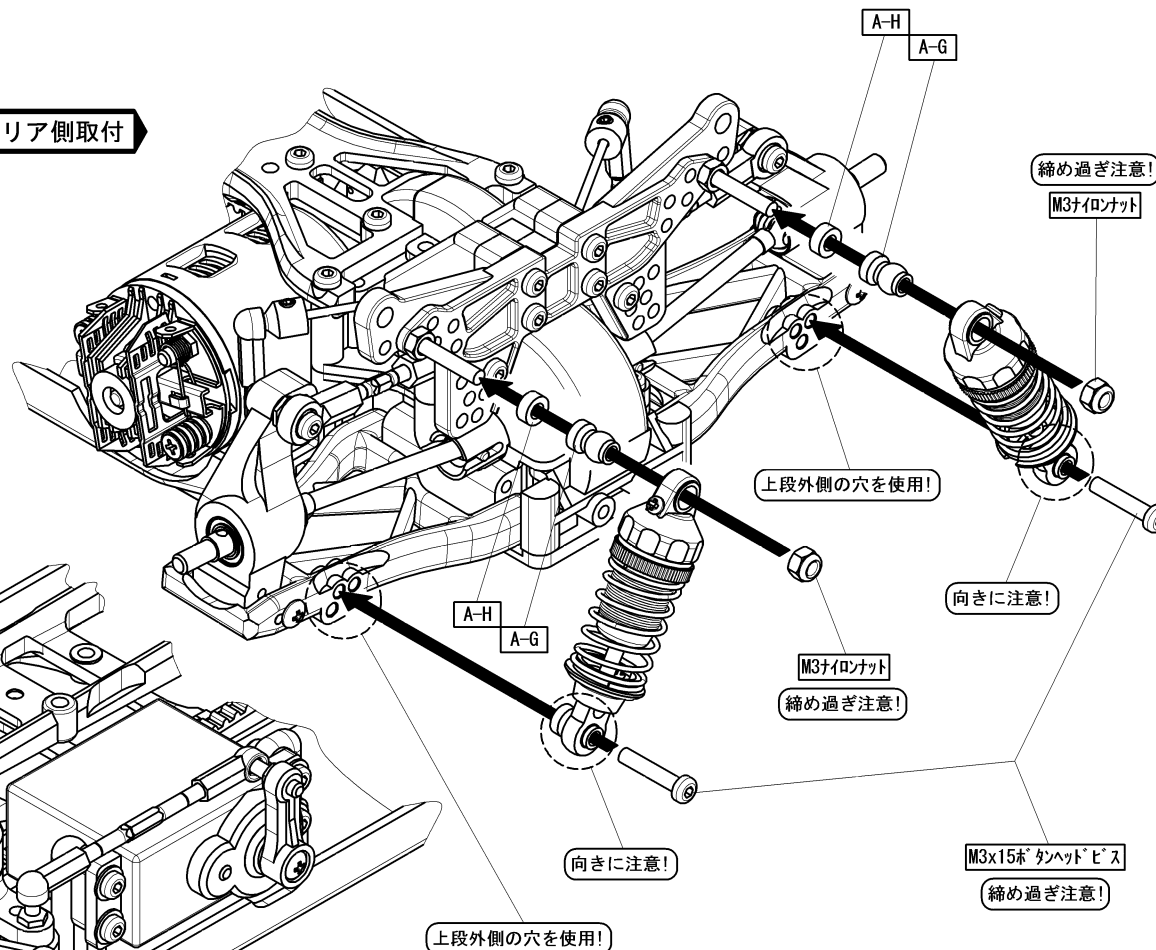
【A-部品】

A-G×4 ショック用アッパーボール

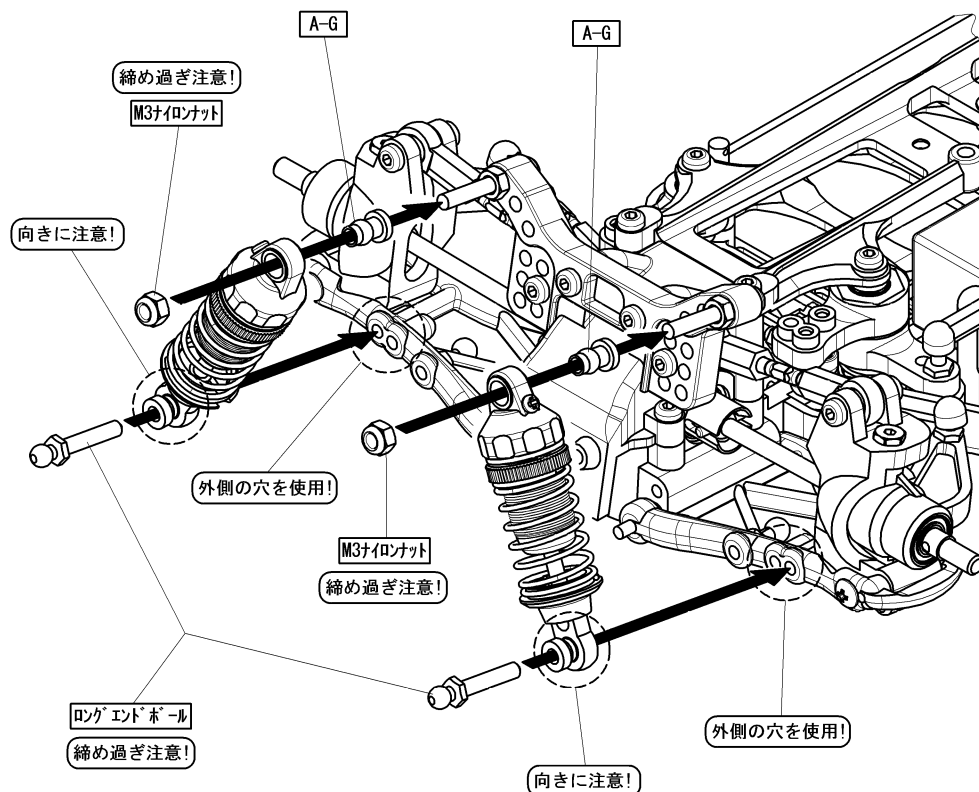
A-H×4 スペーサー

20 前後ダンパーの取付け

リア側取付



フロント側取付



注意! ①前後ダンパーを固定するナベビス、ナイロンナットは軽く締まる程度に締めて下さい。
(締めすぎると樹脂のボールが潰れ、動きが悪くなります。)

1ポイント!

キット標準リアショック(ショートタイプ)を使用し、コースなどで走行させた時に、車の反応がシビア(敏感)に感じる場合があります。そのような時は、リアダンパーのオイルをやわらかいタイプに交換するか、ロングダンパー(YS-1SS-5 ¥2780)の使用をおすすめします。

【 袋⑮ の内容 】

- x2 M3×8 ボタンヘッドビス
- x4 M3×10 ボタンヘッドビス
- x2 M3×15 ボタンヘッドビス
- x12 フードピン

-----x2 フロントボディーポスト

-----x2 リアボディーポスト

-----x4 ボディーマウントシーソー

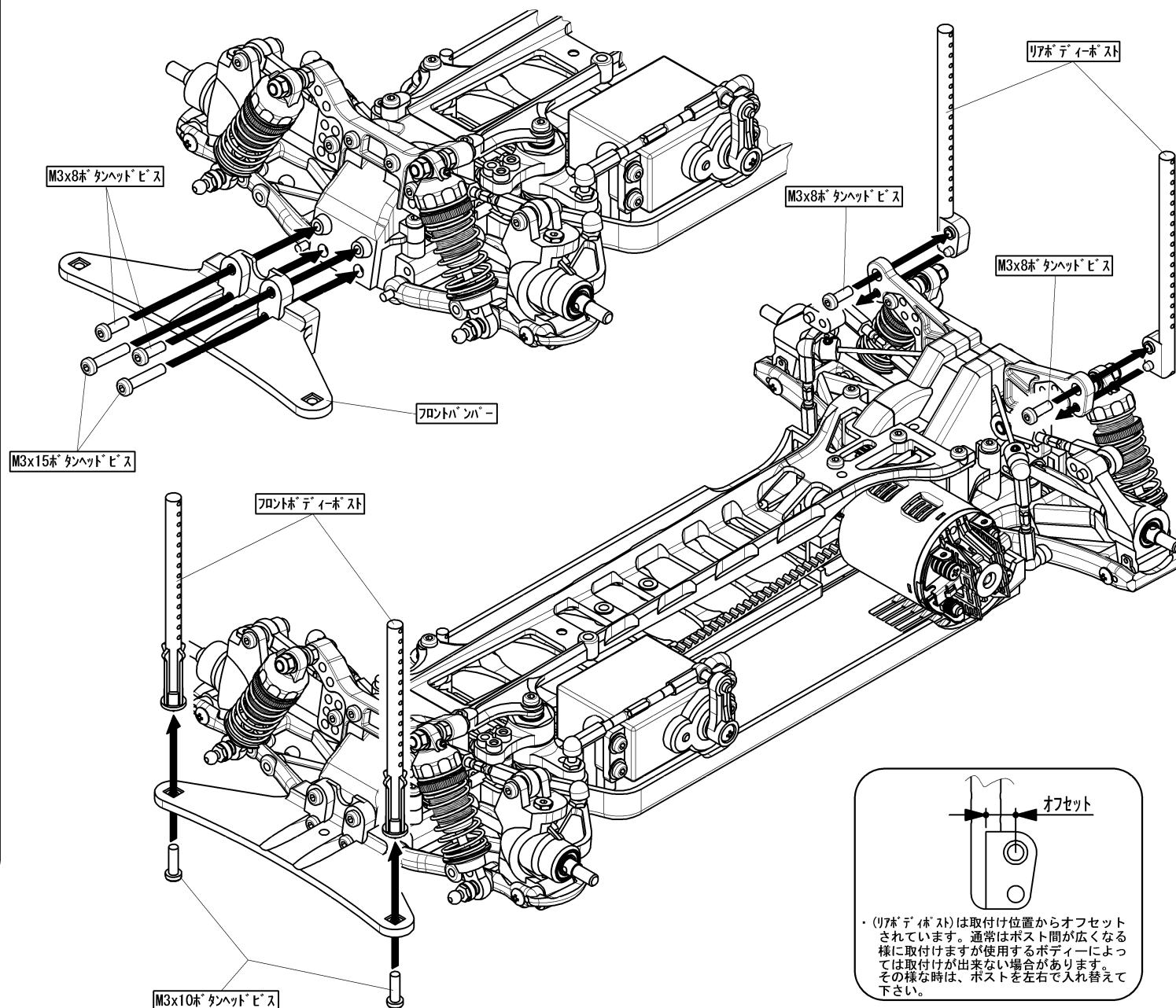
-----x1 フロントバンパー

-----x1 ゴムグロメット

-----x1 サポートプレート

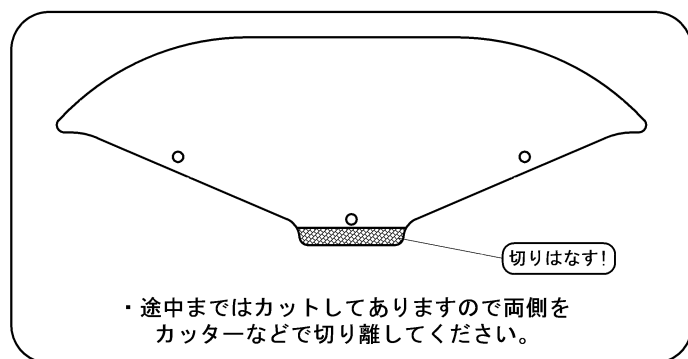
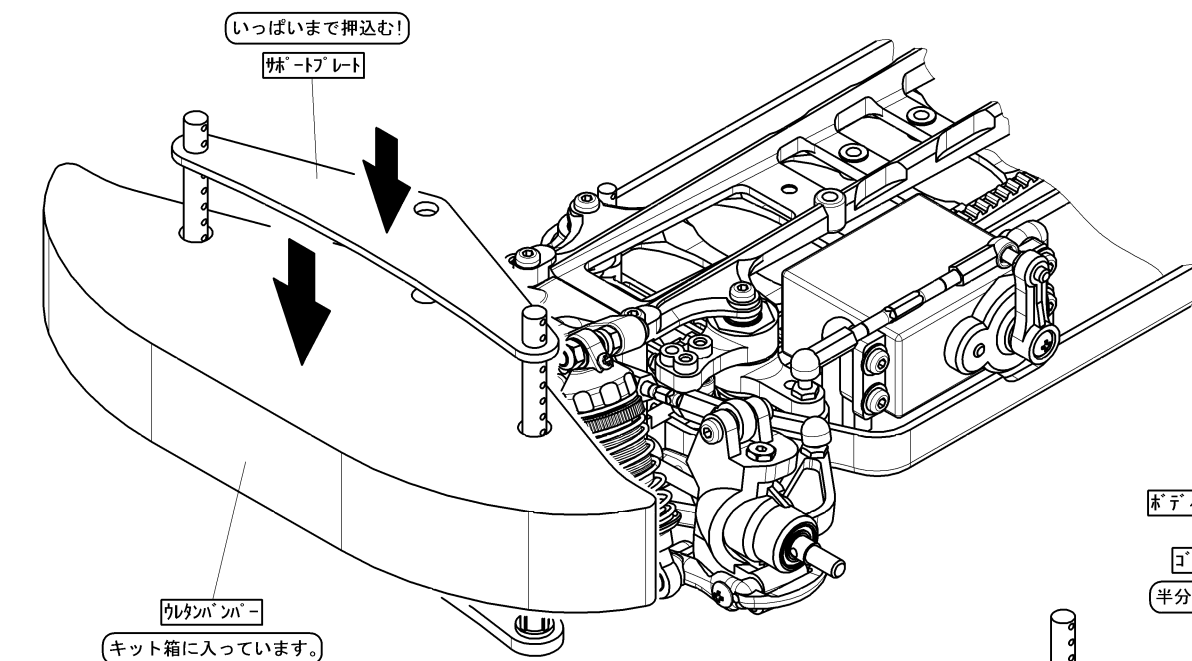
-----x1 バッテリープレート

21 フロントバンパー、ボディーポストの取付け



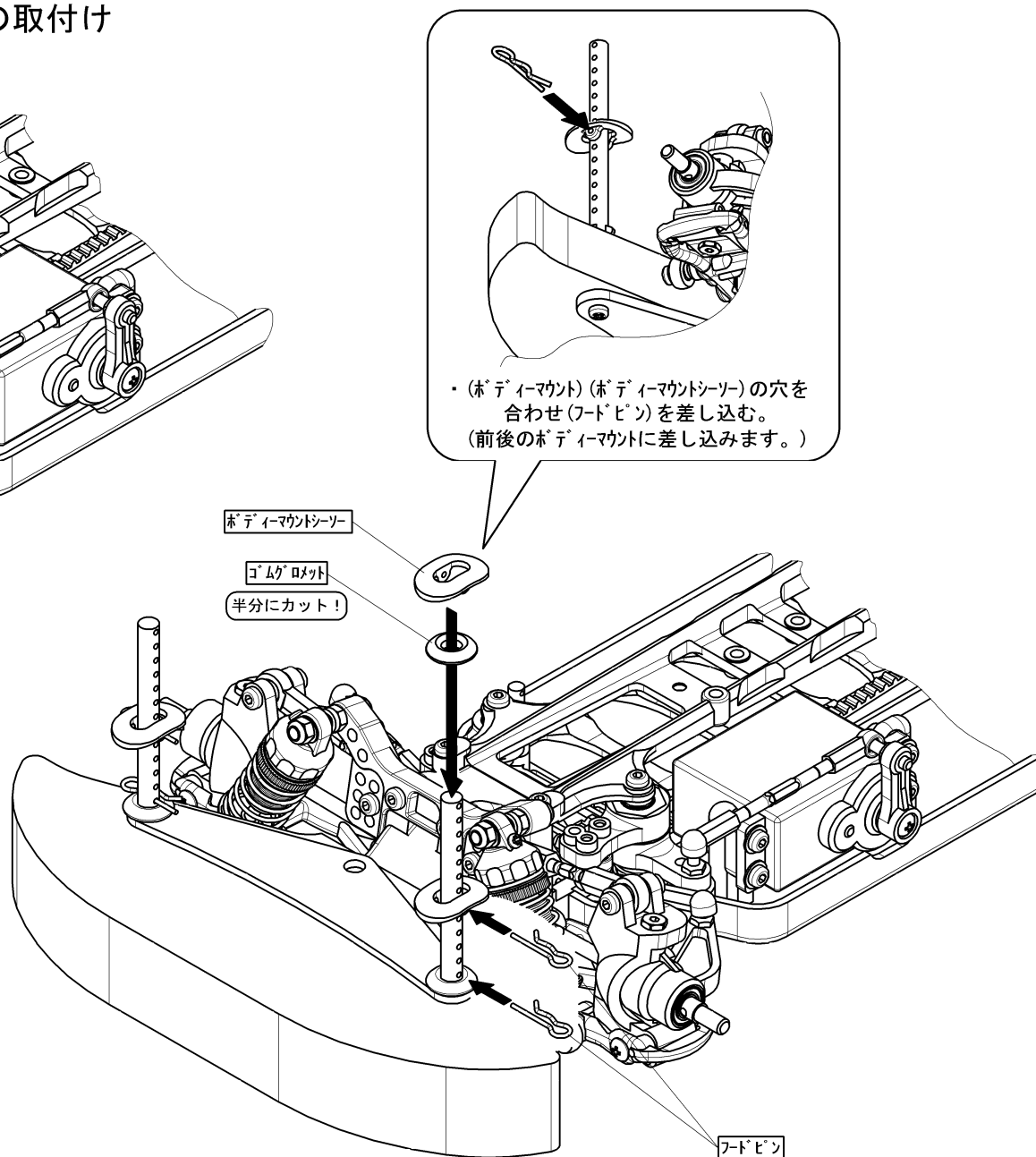
・(リアボディーポスト)は取付け位置からオフセットされています。通常はポスト間が広くなる様に取付けますが使用するボディーによっては取付けが出来ない場合があります。その様な時は、ポストを左右で入れ替えて下さい。

22 ウレタンバンパー、ボディーマウントシーソーの取付け

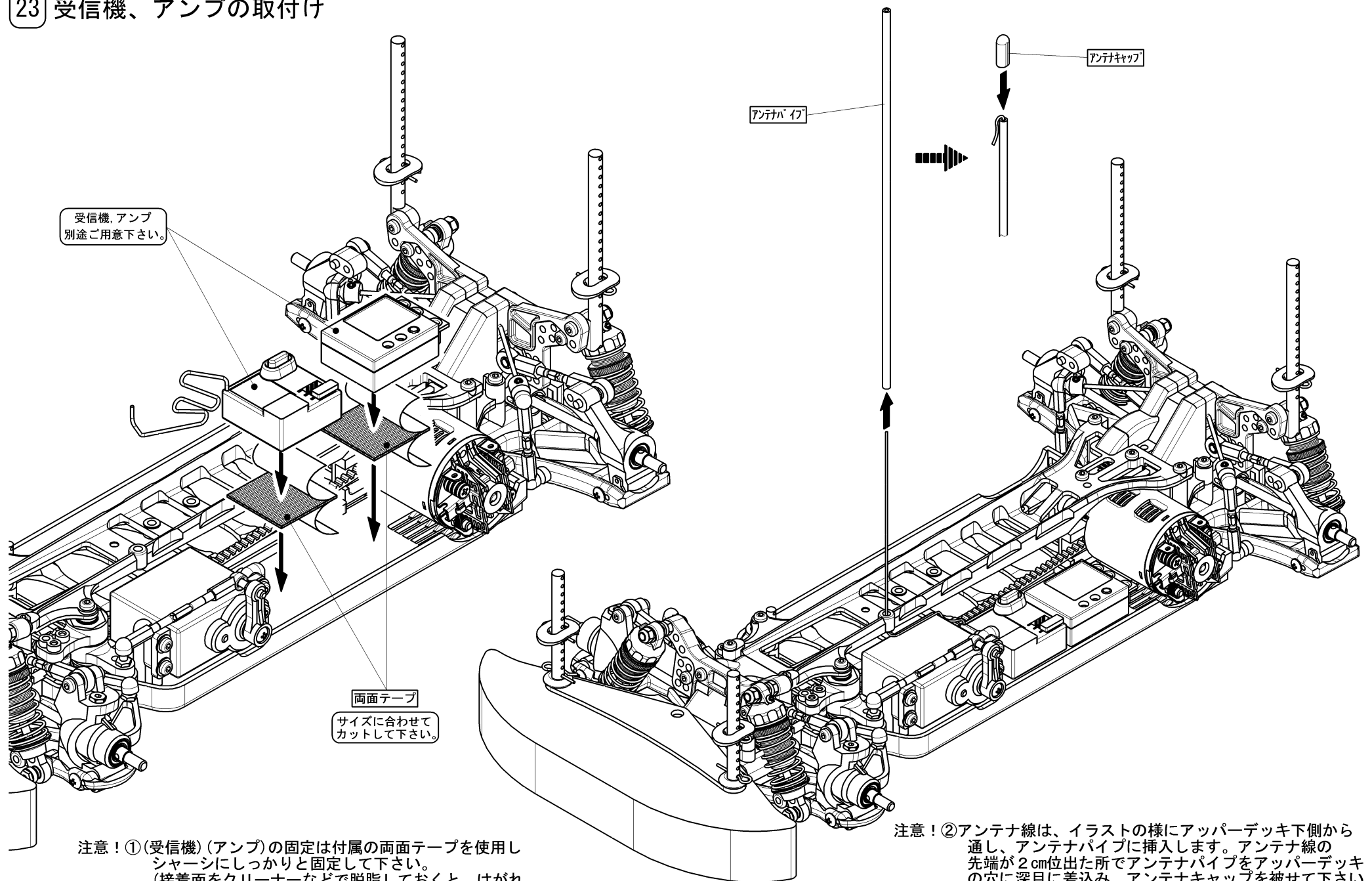


注意! ①ゴムグロメットは半分にカットし、サポートプレートを押さえます。

②ボディーマウントシーソーは、使用するボディーの高さに合わせ、調整して下さい。



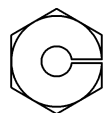
23 受信機、アンプの取付け



注意！①(受信機)(アンプ)の固定は付属の両面テープを使用しシャーシにしっかりと固定して下さい。
(接着面をクリーナーなどで脱脂しておく、はがれにくくなります。)

注意！②アンテナ線は、イラストの様にアッパーデッキ下側から通し、アンテナパイプに挿入します。アンテナ線の先端が2cm位出た所でアンテナパイプをアッパーデッキの穴に深目に差込み、アンテナキャップを被せて下さい。
(余ったアンテナ線はフロントベルトなど稼動部分に触れない様に束ねて下さい。)

【 袋①⑥ の内容 】



--×4

クランプホイールハブ



--×4

M2×5 キャップビス



--×4

ホイールハブピン

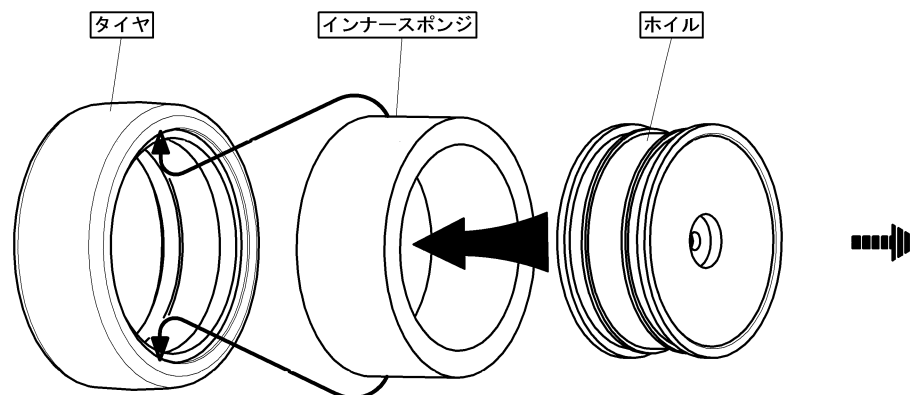


--×4

M4 ナイロンナット

24 タイヤの接着、ホイールハブの取付け

・タイヤにインナーポンジを押込み、タイヤのリブをホイールの溝にはめこむ。
(タイヤ、インナーポンジ、ホイールは、キット箱に入っています。)



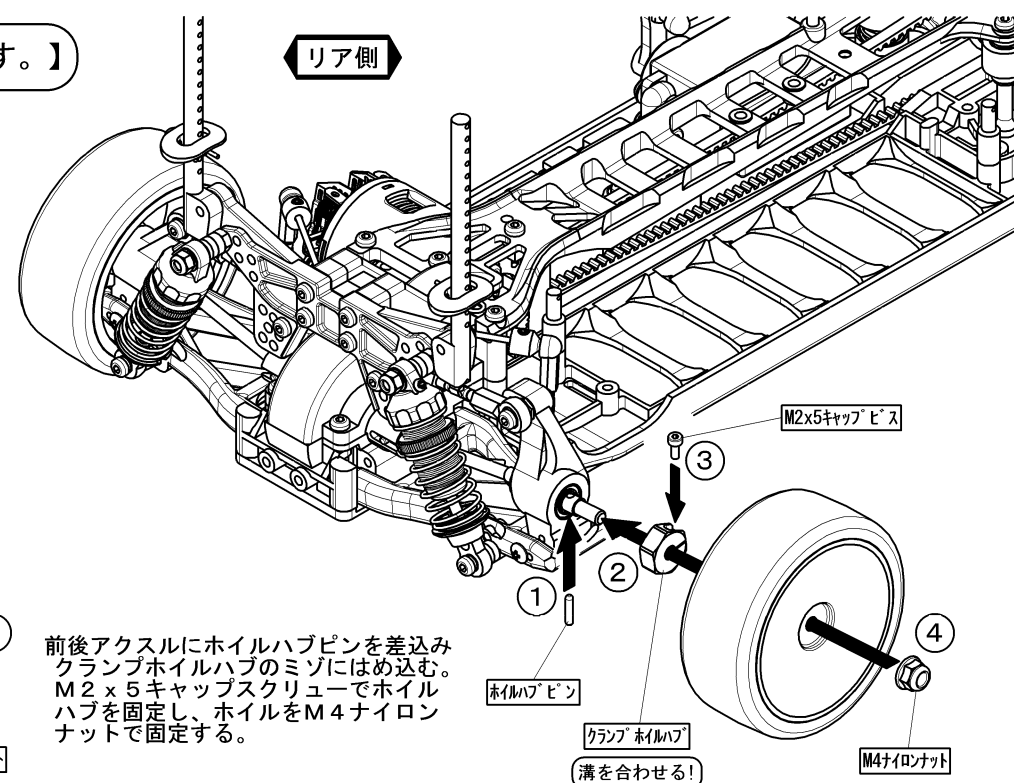
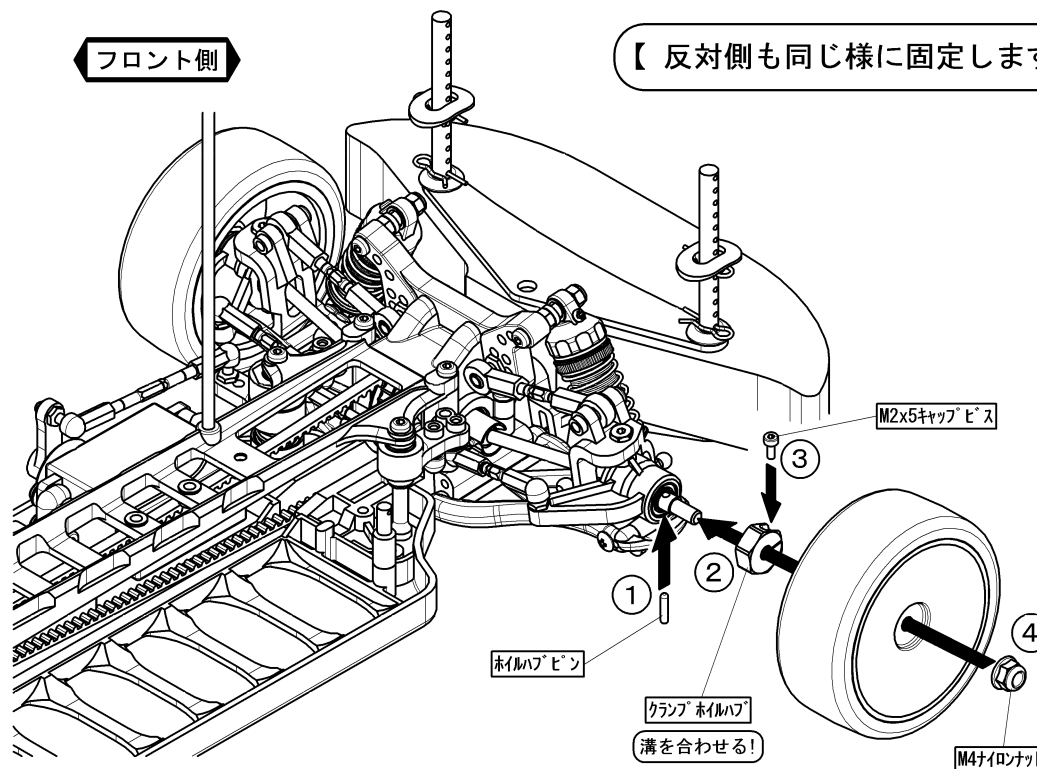
・タイヤのサイドをめくり、ホイールとの隙間に瞬間接着剤を流し込み、両サイドを接着する。



フロント側

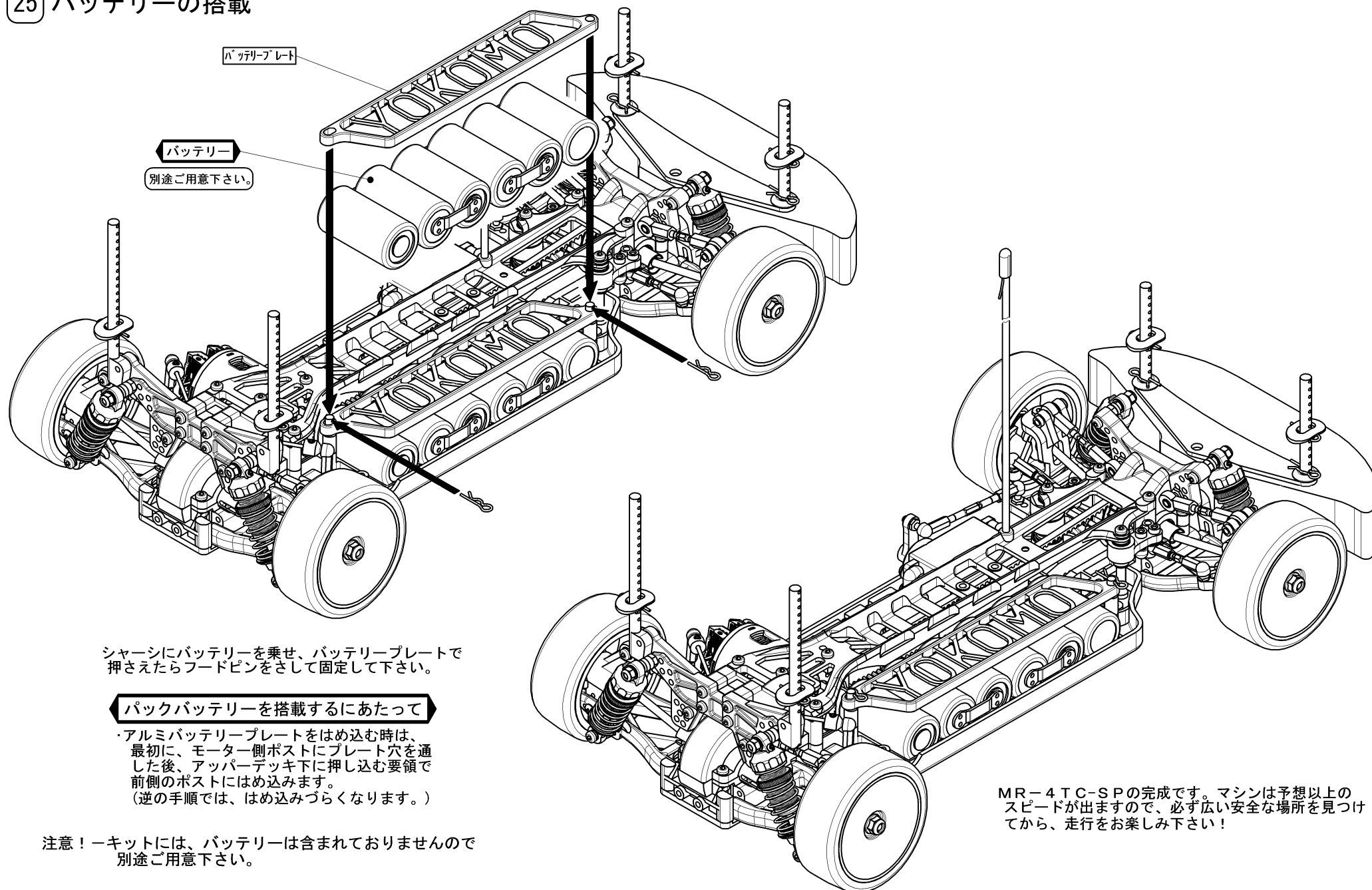
【 反対側も同じ様に固定します。 】

リア側



前後アクスルにホイールハブピンを差込みクランプホイールハブのミズにはめ込む。M2×5キャップスクリューでホイールハブを固定し、ホイールをM4ナイロンナットで固定する。

25 バッテリーの搭載



シャーシにバッテリーを乗せ、バッテリープレートで押さえたらフードピンをさして固定して下さい。

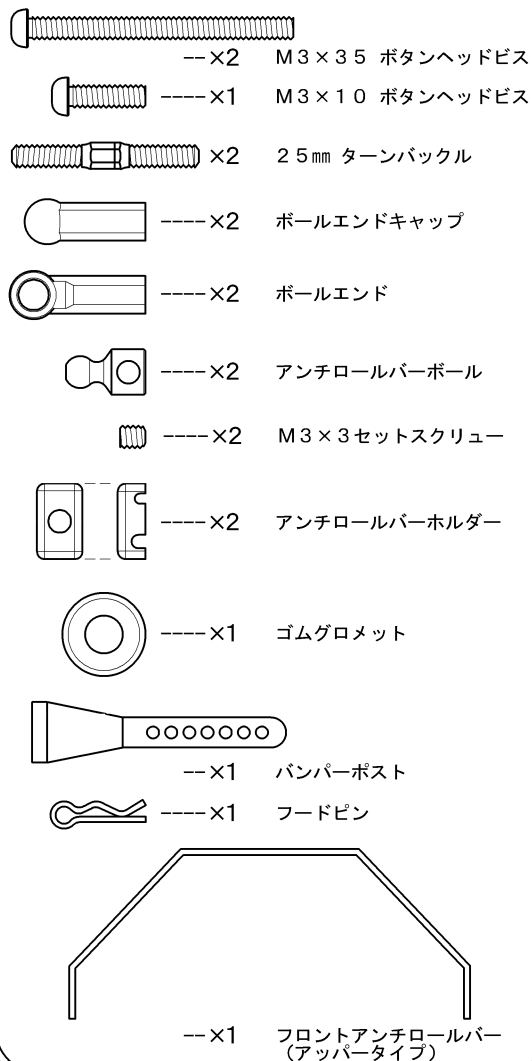
バックバッテリーを搭載するにあたって

- ・アルミバッテリープレートをはめ込む時は、最初に、モーター側ポストにプレート穴を通した後、アッパーデッキ下に押し込む要領で前側のポストにはめ込みます。
(逆の手順では、はめ込みづらくなります。)

注意！一キットには、バッテリーは含まれておりませんので別途ご用意下さい。

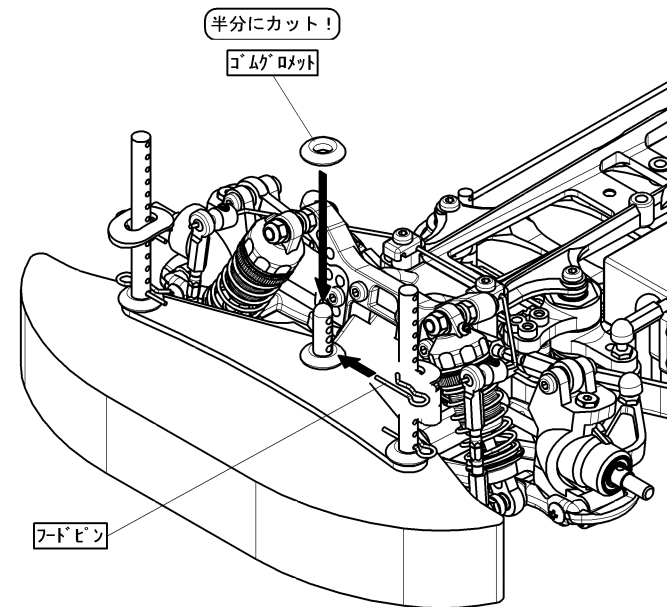
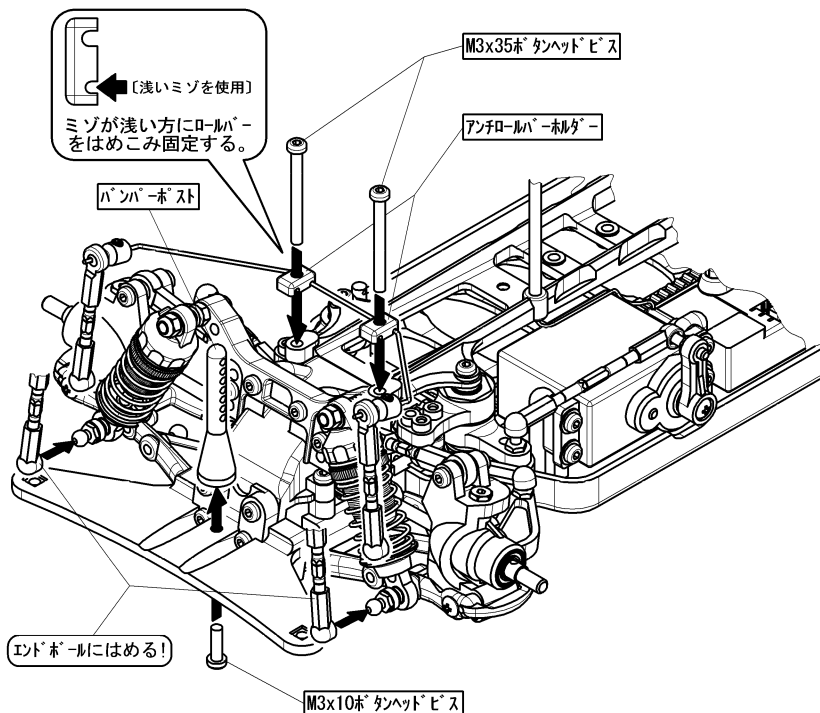
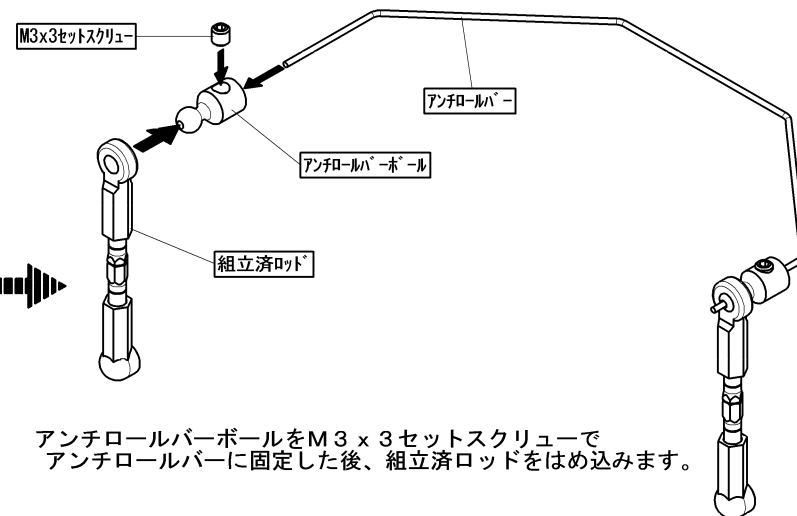
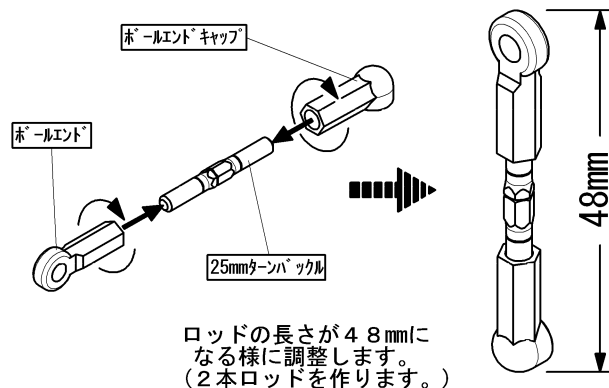
MR-4 TC-SPの完成です。マシンは予想以上のスピードが出ますので、必ず広い安全な場所を見つけてから、走行をお楽しみ下さい！

【このページの使用パーツ】



26 フロントアンチロールバー(アッパータイプ) 取付け

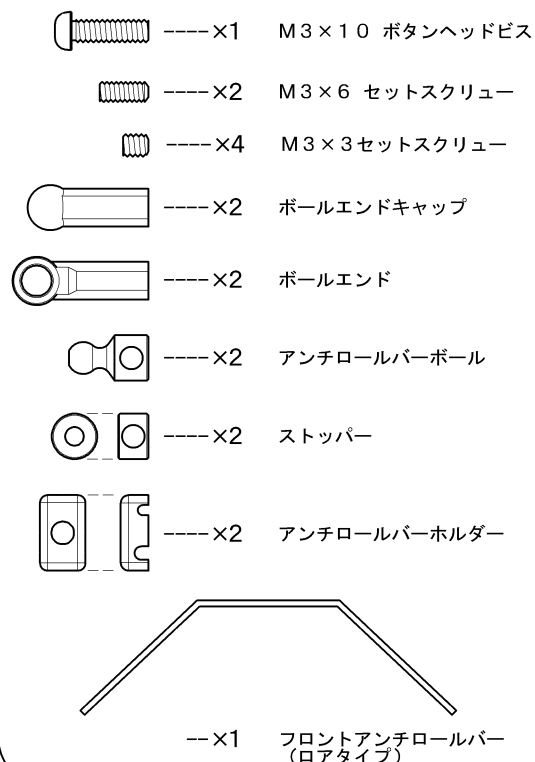
フロントアンチロールバーロッドの組立て



アンチロールバーをイラストのように取付けたら、エンドボールにボールエンドキャップをはめ込みます。バンパーポストをM3×10 ボタンヘッドビスで固定し、ウレタンバンパー、サポートプレートを押し込んだら、ゴムグロメットを被せ、フードピンを差し込み固定させます。

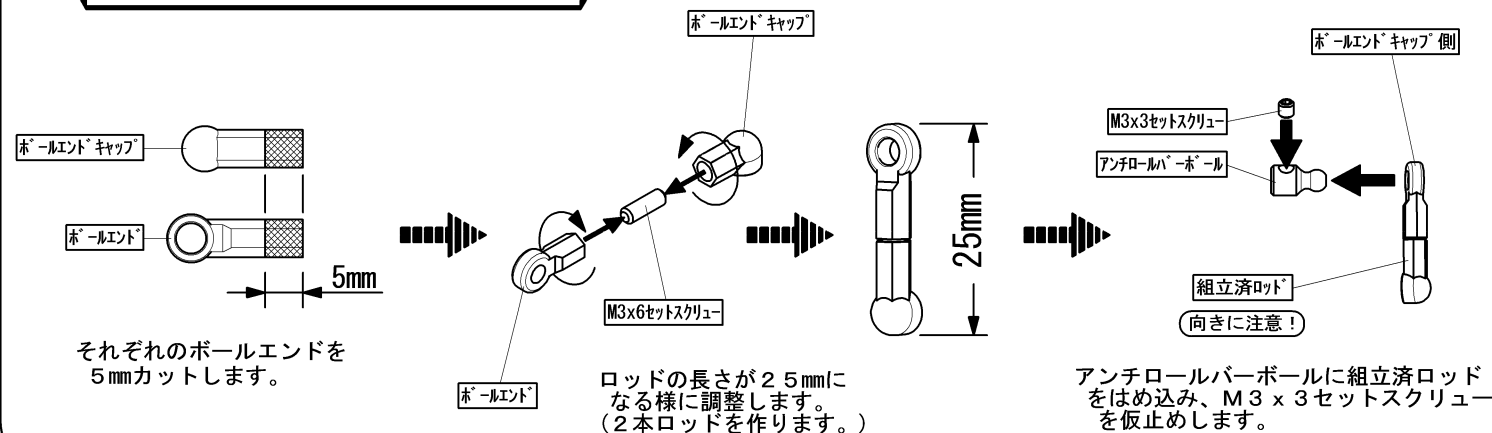
特性—アッパータイプは、ステアリング切始め(初期)がマイルドで、後半、車が曲がりやすい特性を持っています。このキットの場合、シャーシ自体の特性が比較的初期に曲がる設定の為、アッパータイプの使用をおすすめします。

【このページの使用パーツ】



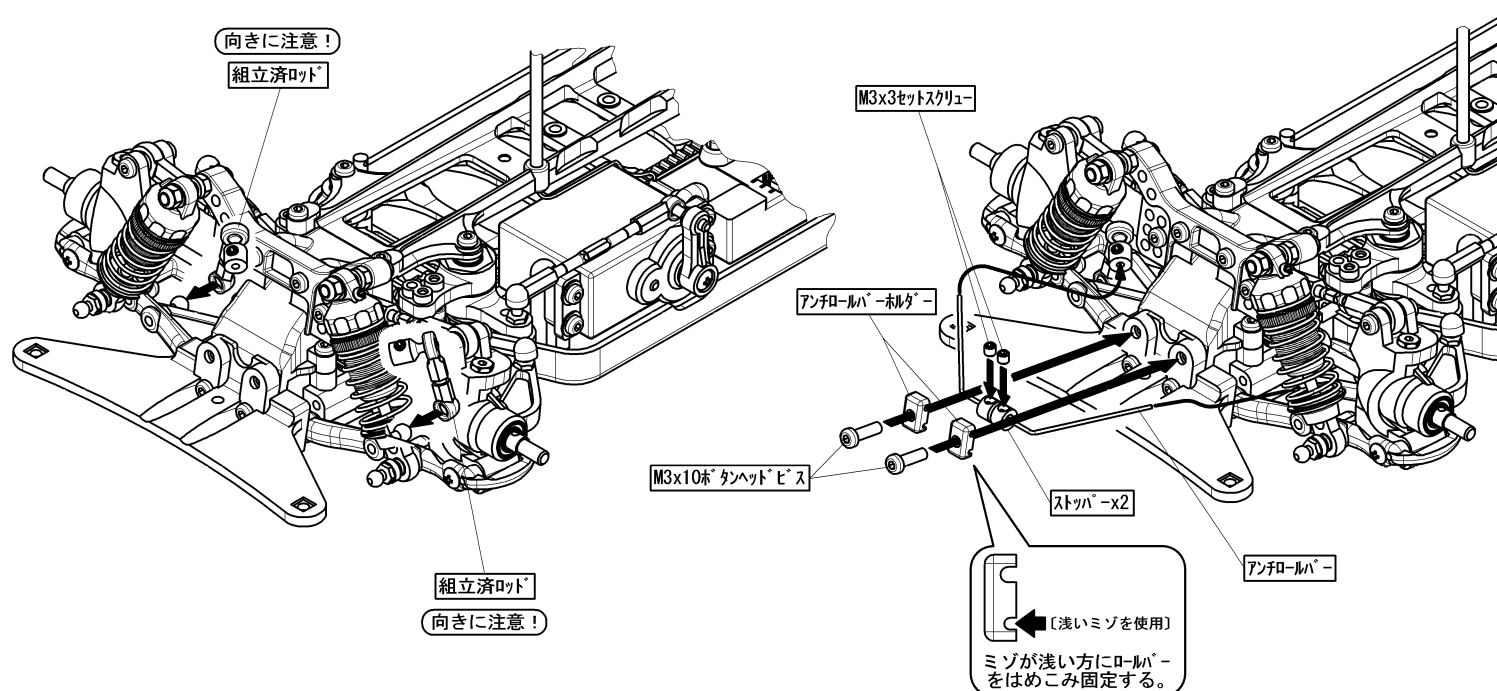
26 フロントアンチロールバー(ロアタイプ) 取付け

フロントアンチロールバーロッドの組立て



フロントロアアームのボールエンドに組立済ロッドをはめ込みます。アンチロールバーにストッパーを2個通し、M3×3 セットスクリューを仮止めします。ロールバーボールにロールバーを両側固定し、イラストのように取付けます。最後に横方向にガタが出ないようにストッパーで調整し、フロントボディーポスト、ウレタンパンパーを取付けます。

特性ーロアタイプは、ステアリング切始め(初期)で車が曲がりやすく、後半、マイルドな特性を持っています。アッパータイプに比べ、ステアリングレスポンスが上がる為、コーナが多い、テクニカルなコースに向いています。



As a manufacturer of World Championship winning cars,

Yokomo will continue to provide the best available technology to R/C enthusiasts all over the world.

Enjoy this product knowing that you are driving one of the best handling R/C cars ever designed.



World Champions

YOKOMO

世界のブランド YOKOMO

ヨコモは競技用R/Cカー（ラジオコントロールカー）の専門メーカーです。その製品は、全日本選手権、全米選手権、ヨーロッパ選手権、そしてR/Cカーレースの最高峰である世界選手権レースでも優勝。世界中のR/Cカーマニアに愛用されています。

株式会社 ヨコモ 〒120-0005 東京都足立区綾瀬 5-23-7 <http://www.yokomo.co.jp>
TEL 03-5613-7553 FAX 03-5613-7552 営業時間：9時～12時 13時～17時（祝祭日を除く月～金）

**YOKOMO
USA**

YOKOMO USA INC. 17951 SKY PARK CIRCLE, BLD. 35 SUITE K, IRVINE, CA. 92614 U.S.A.
<http://www.yokomousa.com> TEL 949-252-8663 FAX 949-252-8657